



筑波大学  
*University of Tsukuba*



筑波大學台灣校友會會刊  
UNIVERSITY OF TSUKUBA  
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION COMMUNICATIONS



筑波大學台灣校友會  
UNIVERSITY OF TSUKUBA  
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION  
10672台北市大安區長興街81號  
筑波大學台灣校友會秘書處  
02-3366-9313

# Contents 目次

## 会長挨拶

- 2 筑波大学台湾校友会の発展に向けて

## 校友会活動報告

- 4 筑波大学台湾校友会第2回総会報告  
5 許水徳名誉会長を表敬訪問

## 鼎談 王貞治 X 林華章 X 永田恭介

- 6 名選手の資質、名監督の条件

## 筑波大学での活動報告

- 16 国際台湾研究プロジェクトの発足  
18 つくばグローバルサイエンス  
ウィーク2017[TGSW]  
20 台湾人若手カフェ

## 校友紹介

- 22 書道家 杜忠誥先生  
26 めくるめく台湾生活 住友智子さん

## 校友交流

- 28 筑波大学台湾校友会&  
台湾茨城県人会合同親睦会  
29 筑波大学台湾校友会各地の親睦会  
台南親睦会  
台中親睦会

## コラボレーション

- 30 ユニバーシアードの応援  
31 筑波大学北部高校生向け国際プログラム  
説明会

## 留学生だより

- 32 Research Network in Tsukuba 劉家銘  
33 DDP 張威鈞

## 筑波大学情報

- 34 筑波大学の新宿舍—グローバル・ビレッジ  
35 筑波大学の新プログラム  
ジャパン・エキスパートプログラム  
BPGIプログラム

## 台湾オフィス報告

- 38 筑波大学台湾オフィス便り  
40 バイクでGo!台湾2泊3日の旅  
44 筑波大学校友会規約  
46 編集後記

## 會長的話

- 3 筑波大學台灣校友會的展望

## 校友會活動報告

- 4 筑波大學台灣校友會第二屆總會報告  
5 訪問許水徳名譽會長

## 鼎談 王貞治 X 林華章 X 永田恭介

- 12 名選手的資質、名教練的條件

## 筑波大學活動報告

- 17 國際台灣研究計畫  
19 筑波國際科學週2017[TGSW]  
21 台灣年輕人座談會

## 校友介紹

- 22 書法家 杜忠誥老師  
26 遇見台灣 住友智子

## 校友交流

- 28 筑波大學台灣校友會與台灣茨城縣同鄉會聚會  
29 筑波大學台灣校友共聚一堂  
台南聚會  
台中聚會

## 校友會贊助活動

- 30 為世大運選手加油  
31 北區大學部國際學程說明會

## 留學生的話

- 32 Research Network in Tsukuba 劉家銘  
33 DDP 張威鈞

## 留學資訊

- 34 筑波大學新宿舍—Global Village  
35 筑波大學新學程—Japan-Expert Program  
Bachelor's Program in Global Issues (BPGI)

## 台灣辦事處報告

- 39 筑波大學台灣辦事處  
41 機車遊花東Go!

- 45 筑波大學台灣校友會章程

- 46 編輯後記

## 筑波大学台湾校友会の発展に向けて

筑波大学台湾校友会会長の林華章です。昨年の創刊号に続き、校友会として会報第二号を皆様にお届けすることができ、大変嬉しく思っております。

2016年2月20日に発足した筑波大学台湾校友会は、今年3月3日をもって第三回目の総会を迎えることとなります。昨年の総会には、約60名の校友の皆様、本学の伊藤教育担当副学長をはじめとする筑波大学関係者の臨席をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

昨年も、本会報にありますよう、校友同士の懇親会、筑波大学との交流など様々な活動に取り組んで参りました。

また、昨年も記しましたが、本校友会では、以下の点を心がけて、校友の皆様との親睦を図って行きたいと考えています。

### (1) 筑波大学およびその前身となる学校に在籍した校友を対象としていること

筑波大学は1872年に東京高等師範学校としてその歴史が始まり、東京文科大学（1929年）、東京教育大学（1949年）を経て、1973年につくば市に本部キャンパスを移して筑波大学となりました。本校友会では、このような筑波大学の歴史を踏まえ、筑波大学およびその前身となるすべての大学・組織に所属した校友の集う会を目指しています。

### (2) 台湾人、日本人を問わず、台湾在住の方を対象としていること

本会の幹事会にも、台湾人と日本人の校友に参加いただいています。国籍を問わず校友同士が共に盛り上げていく校友会を目指しています。

### (3) 校友同士の親睦、および台湾と日本との相互交流と友好発展に寄与すること

校友同士の懇親会、筑波大学と台湾の交流支援などを企画実施していきます。本会報もその一助となればと考えています。皆様の方で活動企画などありましたら、是非幹事会へご連絡ください。校友の皆様と情報共有するとともに協力して活動していきたいと考えています。

### (4) これまでの校友活動に敬意を払うこと

本学の145年に渡る歴史の中で、様々な先輩・後輩の方々が、校友間の親睦や筑波大学との交流に貢献されてきました。このような活動に敬意を払い、また校友間でこれまでの活動を共有するためにも、本会報などに取り上げて行きたいと考えています。是非とも御寄稿ください。

会則および幹事については本会会則をご覧ください。

本会をより良いものにしていくため、皆様のご意見をお待ちしております。

私または幹事会へご連絡いただけますと幸甚です。



## 筑波大學台灣校友會的展望

我是筑波大學台灣校友會會長林華章。承續著去年創刊號的發行，今年我也非常高興能看到這本校友會第二期的會刊，能順利出版，交到各位校友們的手上。

2016年2月20日創立的筑波大學台灣校友會，到今年的3月3日將要迎接第三次總會活動。去年有約60位校友熱情參與，筑波大學的教育副校長伊藤教授也親臨到場給我們指教，僅此致上由衷謝意。

過去一年，台灣校友會就像本會刊所載，除了校友們之間的聯誼聚餐等，也和筑波大學之間舉辦了許多各式各樣的交流活動。

去年的創刊號上我也提到過，但再次重申本校友會的成立目的在於促進校友之間的交流，故以下幾點要在此特別跟大家說明：

### (1) 本校友會の入會資格，以筑波大學及前身大學校友為對象

筑波大學始於1872年創校之東京高等師範學校，經歷了東京文科大学（1929年）、東京教育大學（1949年）的時代，於1973年把校本部移到筑波市，以此地為名而成立了筑波大學。故本校友會以此歷史的軌跡為本，以集合筑波大學及前身之所有大學之校友為目的而設立。

### (2) 不分國籍，以居住在台灣的校友為對象

以本校友會的幹事會為例，台灣的校友和日本的校友皆擔任幹部，不分國籍，一同為台灣校友會的活動盡心盡力，以融合不同國籍的校友為目的而設立。



### (3) 以增進校友間的感情，加強台灣與日本間相互的交流與發展為目的

將策劃校友間的聯誼活動，並支援筑波大學與台灣之間的交流，本次發行之會刊，即為此目的而策劃，希望能對促進聯誼有所助益。諸位校友若有其他活動企劃的想法，也煩請跟幹事會聯絡。願校友們都能在共有共享的基礎上，互助合作，為本校友會的活動增添色彩。

### (4) 向歷來的校友會活動致敬

在母校145年悠久的歷史中，有些校友先進為校友活動貢獻良多，例如黃錦容學姊近年來在筑波大學第五任江崎玲於奈校長、第六任北原保雄校長、第七任岩崎洋一校長訪台之際，皆居中聯繫校友接待，在與母校之交流活動中，功不可沒。在此向歷來的校友會活動參與人員，致上最高的敬意與最深的感謝。為了本校友會的茁壯與成長，竭誠歡迎所有的校友們，隨時提供寶貴的意見給我們，還請不吝賜教。



## 筑波大学台湾校友会 第2回總會報告

2017年1月21日に第2回筑波大学台湾校友会総会が台北福華大飯店で行われました。

約40名の校友の出席の下、林華韋会長の挨拶、筑波大学伊藤副学長の挨拶、活動報告、予算、会則、役員承認に続き、東京教育大学修了生の莊仲仁様（国立台湾大学心理学科教授）、筑波大学歴史・人類学研究科修了生の于乃明様（国立政治大学日本語学科教授兼教務長）に在学中の思い出を写真とともにご紹介いただきました。

総会に続いて開催された親睦会では、在台日本人OBOGを含む約50名の出席者が、そ

れぞれに歓談と交流に花を咲かせました。

総会の前には、筑波大学台湾オフィス主催による筑波大学留学説明会が行われ、関係者を含む約30名が出席し、熱心に耳を傾けていました。

筑波大学からは、伊藤真副学長（教育担当）、佐藤兆昭副理事（国際担当）、大庭良介准教授（台湾オフィス所長）が出席されました。



## 筑波大學台灣校友會 第二屆總會報告

2017年1月21日第二屆筑波大學台灣校友會於福華大飯店舉行。約40名校友出席大會，會中有林華韋會長，筑波大學伊藤副校長致詞，同時舉行年度活動報告、預算報告、校友會章程、幹部追認之外，並邀請到東京教育大學畢業之莊仲仁老師（國立台灣大學心理學系教授），與筑波大學歷史人類研究科畢業之于乃明老師（國立政治大學日本語文學系教授兼教務長），以簡報以及珍貴照片分享當年筑波生活剪影。

緊接大會之後是校友歡聚餐會，包括在台日籍校友，約50名共聚一堂敘舊言歡。

當日在大會舉行之前，並有台灣辦事處主辦之筑波大學留學說明會，相關人士約30名熱心參與聆聽。

筑波大學則有伊藤真副校長（負責教育事務），佐藤兆昭副理事（負責國際事務），大庭良介副教授（台灣辦事處所長）等出席說明會。



## 許水德名譽會長を表敬訪問

2017年5月19日、林華韋会長、李嘉進顧問、大庭良介台湾オフィス所長が、許水德氏を表敬し、許水德氏には校友会名誉会長となられることをご承諾いただきました。また、2017年11月23日、永田恭介筑波大学学長の台湾訪問に際し、許水德名誉会長の主催で、晩餐会を開催していただきました。



## 訪問許水德名譽會長

2017年5月19日，林華韋會長、李嘉進顧問、台灣辦事處大庭良介處長一同前往訪問許水德先生，表明邀請擔任校友會名譽會長之職，十分榮幸得到許水德先生

的允諾。也在2017年11月23日，在筑波大學永田恭介校長訪台之際，由許水德先生設宴款待永田恭介校長與校友會幹部，賓主盡歡。



全体を俯瞰して進むリーダーシップを



教養があり、しっかりとした人間性



最善の結果を目指し続ける



TSUKU COMM  
SPECIAL TALK

# 名選手の資質、名監督の条件

SADAHARU OH

## 王 貞 治

福岡ソフトバンクホークス取締役会長

HUA-WEI LIN

## 林 華 韋

国立台湾体育運動大学校長 / 筑波大学台湾校友会会長

KYOSUKE NAGATA

## 永 田 恭 介

筑波大学学長

スポーツと大学。かけ離れた世界のようにですが、自らの限界に挑戦するプレーヤー、チームの力を引き出す指導者、組織全体を指揮するマネージャー、といった各レベルの役割や組織の構造から捉えると、両者には接点があります。通算本塁打の世界記録を樹立し、日本のプロ野球界を長年にわたって支えてきたレジェンド、王貞治氏、日本の社会人野球で活躍した後、筑波大学で学び、台湾代表チーム監督を経て、現在は教育者として後進の育成に尽力する台湾野球界の第一人者、林華韋氏をお迎えし、人材育成や組織運営の極意について、永田学長とともに熱く語りました。

### ■ベストにこだわる

永田 ● お二人は、WBC (World Baseball Classic) までの対戦など、野球を通して交流が続けられてきました。台湾でも日本でも、野球はとても大切なスポーツのひとつですから、そういう長い付き合いというのは両国にとっても意義のあることだと思います。

さて、王さんと言えば、なんといっても一本足打法です。そこで最初に伺います。あの打法は、肉体的にもかなりきついと思うのですが、引退されるまでずっと続けられました。その秘訣をどうしてもお聞きしたいのですが。

王 ● まず、一本足打法をなぜやったかという、バッティングで一番大事なのはタイミング、ボールとの距離感です。バットにボールが当たった時



SADAHARU OH

王 貞治

HUA-WEI LIN

林 華章

KYOSUKE NAGATA

永田 恭介

に、ボールにいちばん力が伝わる位置があるのですが、これには手の長さ、バットの長さなどによって個人差があります。私の場合は、ボールが中に入りすぎて窮屈な打ち方になっていたため、もう少し前で当てようと、いろんなことをやってみました。すると、打つ体勢を作るのに、少し早めに動くと良い感覚がつかめたんです。ただ、それには片足を上げますからバランスが悪くて、なかなかベストの位置になりません。でも、いい位置で打った時は、ものすごく飛ぶものですから、なんとかこれで確率を上げていけなかなと思って、ひたすら練習しました。片足で何分も立ったり、頭がずれないようにしたり、細かいことなんですけど、体得するのはきつかったです。それでも、うまくいった時の結果が最高に素晴らしいので、それをずっと追い求めてきました。

**永田** ● 選手としてベストにこだわる気持ちをお聞きして、ワクワクしました。私にとっては、永遠に「王選手」ですから。チームにおける選手というのは、大学でいうと研究者にあたると思

いますが、研究者が持つべき姿勢は、今おっしゃったことに近い、つまり最善の結果を目指し続けることです。共通の考え方が当てはまりますね。

#### ■名選手は名監督になれるか

**永田** ● 教育者（指導者）あるいは監督は、個々の学生や選手の能力を引き出していくことが、さらに学長や会長のような運営責任者になると、組織全体をうまく統括することが求められます。選手（学生、研究者）、監督（指導者）、運営責任者が、それぞれ力を発揮して世界と戦いながら、良い結果を出さなくてはならないのは、大学も野球も同じです。お二人は、ともに、監督としても輝かしい業績を挙げておられます。指導者の立場になって、一番気を付けられたことは何でしょうか。

**王** ● 選手たちの相手に対して向かっていく気持ち、勝利に対する執念を高めさせてグラウンドに送り出すのが、監督の仕事だと思っていま

す。選手生活の中で、ほとんどの時間は技術を磨くために費やされます。だけど、表に出るのは戦う場面です。この時に、今まで積み重ねてきたものを、存分に発揮するには、闘争心や集中力、体調などいろいろなことが影響します。それらを選手にとって最適な状態に整えるんです。今は、ピッチングやバッティングなど、個々の技術コーチがいます。監督の仕事は、それら一つに結集させ、勝ちに結び付けることです。また、監督のそういう思いを選手に気付かせる、この監督についていけば大丈夫だと思わせることも大事です。

**林** ● どんな選手でも必ず好不調の波がありますし、勝ち続けていると油断も出てきます。野球は団体で長いシーズンを戦いますから、メンタルやスタミナなども含めて、個々の選手のコンディションをよく見ながら、チーム全体としていつも勝てるように調整しなくてはなりません。日々の練習でも、コーチとも相談しながら、選手ごとに丁寧に説明や振り返りを行うようにしています。厳しいことを言うときもありますが、それ

はむしろコーチに対してです。監督は、特に試合中は、できるだけポジティブな盛り上げ役になる方が良いでしょう。

**王** ● 戦う意義というのもみんな受け止め方が違いますからね。技術的なレベル、集中の度合いもいろいろです。なぜ一生懸命やらなくてはならないのか、目的意識をしっかり持たせるようにしています。もちろん、自分のためであるのが一番ですけど、そういうことって当たり前のようにでいて意外とわかっていないんです。

**林** ● 私は20代後半で選手を引退して、筑波大学でトレーニング学を学びました。当時はまだあまり知られていない学問でしたが、台湾に帰ってコーチになった時にはすごく役立ちました。30年も前に私が書いたトレーニング計画が今でも使われています。心理学的な方法も確立されてきて、モチベーションを上げるにも、一人一人の個性に合わせた対応が必要です。叱ることで伸びる選手もいれば、叱ると逆効果になってしまう選手もいます。ですから、野球以外の時間でも選手に関心を持たなくては

なりません。

**永田** ● 「名選手、名監督ならず」とも言われますが、優れた選手は、指導者になった時に、知っていて当然だろうとか、自分と同じようにできるはずだ、という態度が出過ぎてしまうのかもしれないですね。

**王** ● あるレベルまで到達した人は、選手が苦痛になるほどの求め方をしてしまいがちです。私もその反省はあります。ただ私は一本足という特殊な打ち方で、練習も独特だったものから、自分のようにできるという考えで選手にあたったことは一度もないですね。むしろ、私から見ると君の能力としてはこれだけのことはできるはずだ、だから、もう少しチャレンジしてもいいんじゃないか、とそういう話をしました。

**林** ● スポーツには国民性や文化的な特徴も出ます。例えば、短距離ダッシュをすると、日本人は全力でゴールまで走りますが、台湾人はゴール手前で力を緩めてしまいます。台湾野球について言えば、そういう意識改革の教育も必要だと思います。

**王** ● 野球では、走り切ればセーフ、そうでなければアウト、というのがはっきりしていますから、言いやすいかもしれませんが、瞬間の力の出し具合で、アウトとセーフは紙一重です。極端に言うと、力を抜いてくるか、一生懸命走ってくるかで、審判のジャッジにも関わるんです。全力を出している姿を見せないと、いい結果には結びつかないんだということがわかれば、変わるんじゃないでしょうか。

**永田** ● 本人が気づくように導くことが大事ですね。

#### ■組織のトップとしての心構え

**永田** ● さて、球団や大学のトップとなると、個々の人員というよりは、チームやそれを支える人たちのことを考えなくてはなりませんし、社会に対していろいろな発信をする役割も担うことになります。この点で一番重要なことは何でしょうか。

**王** ● ファンの反応はストレートです。ファンが

望んでいるのは、まず勝つこと。勝てばどんな勝ち方でも文句はない。負ければ、どんなに惜しい負け方でもダメです。それを選手たちに理解させます。試合が終わって、ファンに喜んで帰ってもらえたか、今日は納得していないとか、そういうことは選手も実際に感じますから、それは伝えやすいということはありません。

**永田** ● 球団には選手以外の職員やスタッフもいるわけですが、そういう人たちのモチベーションも上げなければなりません。

**王** ● 我々とはもはや勝ち負けだけではお客さんと呼べるとは思っていません。年間に140以上も試合をしますし、テレビ放送もあります。営業の人たちが企業などに売り込みに行ったり、何とかしてチケットを買ってもらって、そういう地道な活動のおかげで球場にお客さんがたくさん来てくれる。ユニフォームを着ている者は、そのことを理解してはいけません。我々が気分よく野球ができるのは、営業や他の人たちの日頃の苦労があってこそだとわかった上で、試合に臨ませるように心がけています。

**林** ● 選手としては、球場で良いパフォーマンスをすることが第一ですが、どんなに野球がうまくても、他のことは何も知らないのでは、ファンや地域との交流はできません。教養があり人間性がしっかりしていること、つまり人としての模範になることが、一番のサービスだと思います。選手は将来、指導者になったり、野球とは違う道に進むこともありますから、そういう意味でも人間性は大事です。そのことを踏まえて選手と接しています。

大学のトップというのは、野球の監督と似たところもありますが、やるべきことの範囲はずっと広がります。私の大学の最大のミッションは選手の養成ですが、学生生活、研究、安全、地域交流、国際化など、いろいろなことを考えます。幸い、学生や教職員もよくついてきてくれています。野球をずっとやってきて、海外での経験もたくさんあることが、学内外で良い人間関係をつくるスキルに結び付いているのかもしれないですね。

#### ■変化を拒まない姿勢

**永田** ● ところで、野球が人気スポーツであることは変わらないと思いますが、日本や台湾、そして世界の野球界が、これからさらにどういう方向に発展していくのが望ましいとお考えですか。

**王** ● やはり見る側が求めるのは、例えば大谷翔平選手のような、スーパーな選手です。ずば抜けた人が現れると全体が盛り上がるんですよね。ですから、そういう選手を生む土壌をつくっていきたくと考えています。それには、プロに限らず野球全体として、選手も指導者も、もっと高度で科学的な練習方法を導入することだと思います。野球というのはおかしなもので、ピッチャーからバッターまでの距離、ホームから1塁までの距離、これはもう100年ぐらい変わっていませんが、その中での人間同士の戦い方は、我々の時代よりもずっと複雑になっています。ピッチャーの球種が増えて、バッターも

それに対応する。ルールは変わらなくても、方法論や技術は劇的に変化をしていますし、これからもそれは続くと思います。

**永田** ● よく理解できます。大学をとりまく環境もダイナミックに変化していますが、要は良い研究をすること、新しいものを生み出すこと。それなしに、どんなに教育を謳おうが、全く意味がありません。環境や手法は変わってもルールは同じです。スポーツと違って、我々には明白な勝敗はありませんが、結果がすべてという意味では似ています。何日も寝ずに研究しても、別の人が先に成果を出してしまったら、その努力はノーカウントなんです。

**林** ● 台湾野球界の最大の問題は、アマチュアとプロの仲が良くないことです。日本も以前は同じでしたが、今はうまくいっています。それは、プロ野球側が、アマチュア野球や学生野球が人材育成の基本だということに気付いたからだそうですね。台湾の野球はまだそこまで理解していないと思います。

**王** ● お互いに情報を交換して、育成も力を合わせてやっていくのが良いですね。特に台湾の場合は、日本に比べれば野球人口が少ないですから。でも台湾には運動能力の優れた人が多い。そういう人々を選抜して集中的に鍛えれば、かなりのレベルまで上げられると思います。日本との国際交流試合も刺激になると思いますが、まず国内で、こんなチーム、選手を育てようという共通の目標を持つことが重要ですね。それにはやはり、社会全体で育てることで、選手たちに意欲があっても、社会がそれを

受け入れる体制をつくって支援しなければ伸びないと思います。プロとアマ、教育政策や若者の育成なども含めて、一つの方針に向かって、みんなでスクラムを組んでいくというのが一番大事だと思います。

**永田** ● 多くの台湾出身選手が日本で活躍し、日本の選手もメジャーリーグでプレーしています。メジャーには、いろいろな国から選手が来ています。世界的に、国境にとらわれず、レベルの高い野球を目指すようになってきたと思います。国際的な開かれ方という点で、日本や台湾の野球界はどのような状況なのでしょう。

**王** ● 日本のプロ野球界もかつては、選手をアメリカに行かせませんでした。いい選手が流出してしまうことを恐れたんです。でも、野茂(英雄)という投手が見事に道を切り拓いてくれました。当時は国賊扱いされましたが、彼のおかげで、いまや、松井(秀喜)やイチローや黒田(博樹)など、数は少ないが堂々とメジャーで活躍しています。こういうふうには、いったん壁が崩れた後は、日本の野球も格段にレベルが上がりました。不可能に見えることでも、それを突破するための努力をする人たちがいるべきだと思います。

**林** ● 台湾では野球産業のスケールが小さいのですが、日本はもちろん、アメリカへ渡る選手も増えています。また、郭泰源や郭源治など、日本で活躍した選手たちが、台湾に帰ってきて、台湾野球の国際化や技術のレベルアップに貢献してくれています。彼らの野球に対する考え方も、とても役に立っています。

#### ■道を切り拓く人を育てる

**永田** ● 日本では2020年にオリンピック・パラリンピックが開かれます。野球に限らず、スポーツが日本の社会に変化をもたらすこともあると思います。その意味で、これからどのような人材が必要だと思いますか。

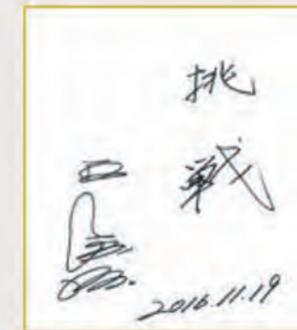
**林** ● 大学での人材育成は、社会の変化に対応してはなりません。スポーツは言葉を越えます。同じルールの下で言葉が通じなくても競技はできます。若い選手には、試合を通じて世界と交流し、ひいては健康や平和を実現する、そういう社会的な役割も期待されます。そのために、カリキュラムも含めた改革が必要だと思っています。

**王** ● スポーツでは、選手の育成や各競技の発展に目が行きがちですが、同時に、全体を俯瞰して進むべき方向を示し、みんなを動かすような、強いリーダーシップを発揮する人が必要です。ですから、各部門のトップの人にはもっと頑張ってもらいたいですね。どんな分野でも、然るべき人が本気になれば、みんなついて行くんです。そういう、自ら道を拓き、社会をけん引する人材が、これからいろいろな場面で求められていくと思います。

**永田** ● 人材育成の面では、大学とスポーツ界とで、一緒にやっていけることもありそうです。お二人のお話を伺って、私も元気づけられました。これからますますのご活躍に期待しています。短い時間でしたが、ありがとうございました。

### TSUKU COMM **【鼎談】** SPECIAL TALK

王 貞 治 | 林 華 章 | 永 田 恭 介



王貞治氏より



林華章氏より



# 三巨頭 【對談】 名選手的資質，名監督的條件

## 王貞治

福岡SoftBank HAWKS取締役會長

## 林華韋

國立台灣體育運動大學校長/筑波大學台灣校友會會長

## 永田恭介

筑波大學校長

運動與大學。看似距離遙遠不同兩個世界,事實上如果從各個不同角色任務,組織構造來看,例如挑戰自我極限的運動選手,引導發揮一個球隊實力的指導者,全般運籌帷幄一個組織的經理人等等,二者有異曲同工之處。在此,歡迎打出總打數世界全壘打紀錄,也是長久支撐日本職業棒球界的傳奇人物王貞治先生,以及活躍日本成棒界之後,就讀筑波大學歷經台灣棒球代表隊總教練,目前從事教育工作提攜後進不遺餘力的台灣棒球界權威林華韋先生,針對培育人才,管理經營組織的奧秘等等,與筑波大學永田校長三巨頭熱談。

### ■堅持追求極致

**永田**●二位經由WBC(World Baseball Classic)世界棒球經典賽之類比賽中長久以來彼此不斷競爭建立了友好關係。不論台灣、日本,棒球都是重要的運動之一,所以二位的友誼,對於二國絕對是深具意義。話說,只要提及王貞治先生,津津樂道的就

是金雞獨立稻草人打法。我想先請教王先生,這種打法,對身體來說是非常大的負荷,而您在退出第一線之前始終維持此一打法。其祕訣何在?

**王**●為何會有稻草人打法?其實揮棒最重要的是時機,以及與球之間的距離感。當球棒接觸到球時,最能傳到球上的力道,是有一

定位置的。而這又會因手臂長短,球棒長度產生個人差異。以我來說,球太靠近身體,會陷入打擊困難。為此試過各種稍稍往前揮棒的技巧。要維持好的打擊姿勢,必須及早移動才能抓到好的打擊感。但這必須將單腳稍稍舉起,如此一來會失去平衡,很難取得最好的打擊點。在好的打擊位置揮棒,球飛的既高且遠,我唯一想到的就是想辦法提高準確率,不斷練習再練習。單腳持久站立,頭不偏,看似枝微末節,真要身體力行很吃力。儘管如此,當成功擊出好球時精彩無與倫比,那是我一直追求的感覺。

**永田**●聽您娓娓道來選手所堅持的極致,其實我心中很興奮。對我來說您是我心中永遠的[王選手]。球隊中的選手,就如同大學的研究者,研究者必須有的態度,正如同您剛才所言,堅持不斷地朝向極致目標。選手,研究者,其實思考是一致的。

### ■名選手能成為名監督(總教練)?

**永田**●教育者(指導者)或是監督,讓每位學生,選手發揮實力,這些人當上一校之長,或是會長,一旦成為負責組織的營運者,所追求的是好好的成功的統整組織的整體性。運動選手(學生,研究者),監督(指導者),負行政責任者,人人都努力發揮一己之力,與世界競爭,交出漂亮成績單。單就這一點,大學也好,棒球也好是相同的。二位都曾經擔任監督,創造輝煌佳績。以指導者立場,最需要注意的是甚麼?

**王**●我認為是選手們面對對手時的心態,提升選手們贏得比賽的堅定信心登上運動場,這是身為監督的基本工作。選手的生活中幾乎大部分時間都用在磨練技術。可是實際出現在眾人眼前的是比賽。比賽時要能充分發揮

日積月累的練習功力,選手的戰鬥力,注意力,身體狀況等等都影響至鉅。這些缺一不可,它讓選手們調整自己置於最佳狀態。現在,投球,打擊分門別類有專門技術教練。球隊監督的責任就是串連所有大小事務,讓球隊在最好狀況下贏得比賽。同時監督要把自己信念灌輸選手,讓他們知道好好跟隨監督就可贏得比賽。

**林**●任何選手都會碰到順與不順的週期,持續贏得比賽有時反而會造成疏忽輕敵。棒球是長長的團體季賽,包括精神,體力每位選手的狀況都要周全照顧,務必讓團隊隨時備戰贏得比賽。即使是日常的練習,也要隨時和技術教練商量,向每一位選手仔細說明,反覆回顧過往。當然我也有說重話的時候,不過勿寧說是對技術教練的。球隊監督,尤其是面臨比賽,應該盡量扮演積極鼓勵士氣的角色。

**王**●球場奮戰的意義每個人認知度不同。技術水準,專注力也各有所差。我盡量讓選手意識到為何要奮戰的目的。主要是為自己而戰,再簡單不過的事情,很意外居然很多人並不明瞭。

**林**●我在20多歲接近30歲時從第一線退下,進入筑波大學專攻訓練學。當時知道此一專攻學門的人不多。回國後擔任教練時,對我非常有助益。30年前我寫的訓練計劃,現在仍然在使用。與心理學相關的方法獲得認同,激發動力必須針對符合每一個人的個性。苛責對某些選手有用,但用在某些選手卻是反效果。我個人認為棒球以外的時間也應該多關心選手。

**永田**●人們常說[名選手,不見得是名監督],優秀選手一旦成為指導者,或許是過度本位,認為理所當然那是本來就該知道的;自己做得到的,人人都該和自己一樣辦得到。

**王**●已經到達一定水準的人,常會使用讓選

手痛苦的訓練方法而不自知。我個人也曾反省過。只是我所使用的稻草人打法，是一種特殊打法，有獨特練習方式，所以我從不認為或是要求選手能和我一樣做到單腳金雞獨立打擊。往往碰到我覺得你有能力做到的選手，會告訴他，可以稍稍挑戰一下。

**林●**運動可以看出國民性和文化特徵。例如近距離短跑，日本人會全力衝刺到達終點。而台灣人往往抵達終點前就氣衰了。台灣棒球，需要有這種改革意識的教育。

**王●**棒球，只要跑壘成功就安全，否則出局，清清楚楚，所以比較容易說明。端看瞬間爆發力，出局或是安全抵壘一紙之隔。說得極端點，有氣無力地跑，或是拼命衝刺，攸關評審結果。如果選手知道不竭盡所能無法收到好的結果，或許就會有所改變吧。

**永田●**所以說導引出選手的自覺性是很重要的。

#### ■組織領導者的心態

**永田●**接下來談談，球團也好大學也好，一但位居上位，所要思考的不單是每個個人，必須放大到整個球隊，或是支持的大眾。同時也必須擔負面對社會發言的責任。針對這一點，最重要的是甚麼？

**王●**球迷的反應是直接的。他們希望的是贏球。只要贏球，沒有任何抱怨。一但輸了，無論輸得多麼可惜就是不行。這些要讓選手們了解。比賽結束，球迷滿心歡喜回去或是心懷缺憾，其實選手們心知肚明，要他們理解並不困難。

**永田●**球團除了選手還有職員和一些工作成員，也得激發這些人的積極性。

**王●**我們早就不認為單靠輸贏就能招徠客源。一年有140場以上的球賽，電視也有轉播。營

業者拜訪企業推銷門票，想方設法讓企業主購買。因為這些辛苦耕耘，很多客人進到球場。穿著球衣的選手必須瞭解到這點。我們能夠愉快打球，都是拜這些營業者，以及其他大眾平日辛苦經營所致。球員們要以這樣的心情面臨比賽。

**林●**選手們在球場有精采表現固然很重要，但是無論棒球打得多好，其他一概不知，就無法和球迷以及地方上做交流。我覺得有涵養，有好的本性，也就是說能成為別人的模範，這才是最佳的奉獻。選手們將來會成為指導者，也有可能進入不同領域，從這方面看，人的本性十分重要。我是以這樣的想法態度，來對待運動選手。

大學的領導者和棒球監督有相似處。不過大學領導者要做的事情範圍更廣。我帶領的大學的最大任務是培養運動選手。除此以外也會顧及學生生活、研究、安全、區域交流，以及國際化。所幸我的學生，教職員都能跟上我的步調。長久棒球生涯，累積的國外經驗，讓我學到了建立校內校外良好人際關係的技巧。

#### ■不排斥變化的態度

**永田●**話說棒球永遠都是受到喜愛的運動，日本、台灣甚至全世界的棒球界，今後最佳的發展方向，二位看法如何？

**王●**觀眾所要求的還是如大谷翔平選手般的超級明星。出類拔萃的選手現身，會帶動全體高昂情緒。所以我覺得應該創造孕育這樣選手的環境。絕佳環境加上不限職業棒球，所有的棒球領域，選手，指導者都能導入高科技練習方法。棒球是很奇妙的運動，從投手到打擊手之間的距離，本壘和1壘間距離，歷經百年不變，不過選手間的競技方式，遠

比我們的時代複雜得多。投手的投球種類越來越多，打擊手一一配合打擊。棒球規則不變，但是方法論啦、技術面卻戲劇性不斷變化，而且持續變化中。

**永田●**這點我很能理解。環繞大學的環境蓬勃的變化，重要的是良性的研究，產生新的事物。如果沒有這些，無論如何高唱教育全無意義。即便環境，手法改變，然而規則相同。和運動不同的是我們沒有一清二楚的勝敗，不過重視結果，是相似的。熬夜做研究，一旦別人先一步發表成果，努力就白費沒有得分。

**林●**台灣棒球界的問題在於業餘和職業棒球不和。日本以前也一樣，如今相處融洽。據說是職棒意識到業餘棒球和學生棒球是孕育選手的基礎。台灣目前還沒如此深刻認知。

**王●**彼此能交換訊息，合作無間培育人才是最好的。尤其台灣棒球人口比日本少得多啊。而台灣運動能力強的人很多，選拔出優秀人才集中施以訓練，相信會提升到很高水準的。和日本做國際友誼賽，也能刺激成長，當然首要之務是國內有共同目標盡心盡力培育球隊和選手。其實這還是社會全體的責任。選手們有極高意願，社會沒有認可機制給予支援支持，是不會成長的。職業 業餘，教育政策，培育年輕人才，這些都有一個共同方針，彼此手攜手向前行，是最重要的。

**永田●**很多台灣出身的選手活躍日本棒球界，日本選手也很多打美國棒球大聯盟。美國大聯盟有許多來自世界各國的選手。全世界不限國境，目標一致希望有高水準的棒球。這種拓展國際視野的方法，日本、台灣棒球界狀況如何？

**王●**日本職棒界過往不讓選手往美國發展。深怕優秀選手流失。不過，野茂(英雄)投手漂亮

的為我們打開了僵局。當時還被視為國賊，幸好有他，如今松井秀喜，鈴木一朗，黑田博樹等，優秀選手，為數不多卻能夠堂堂正正活躍於美國大聯盟。像這樣，一旦破牆去除障礙，日本棒球水準突飛猛進。所以看似不可能，但是需要有人勇於突破的人持續努力。

**林●**台灣棒球產業規模雖小，不過日本不用說啦，遠渡美國的選手愈來愈多。再者，如郭泰源，郭源治這些曾經活躍日本棒壇的選手，歸國後有助於台灣棒界的國際化，以及技術提升。他們對於棒球的看法更是貢獻良多。

#### ■培育開疆闢土的人才

**永田●**日本2020年舉辦奧運和殘障奧運。我想，不僅棒球，各種運動都將給日本社會帶來改變。在如此情況下，二位認為今後需要何種人才？

**林●**大學的人才培育必須跟著社會脈動。運動超越語言，同樣規則下，不須語言可以彼此競技。年輕選手透過比賽，與世界交流。甚至健康，還有實現世界和平等社會的重責大任都寄託在他們身上。今後教程改革勢在必行。

**王●**運動界往往重視的是培育選手以及發展各種競技，但同時也要有能夠綜覽大局，明示前進方向，推動人脈指揮大局，強有力的領袖型人物。所以期盼各界領導者能夠加把勁多做努力。任何領域，只要適當的人誠心誠意，登高一呼，相信大家都會跟隨。這種開拓自我道路，牽引社會的人才，將是今後各領域所渴求的。

**永田●**看來在培育人才上，大學和運動界有可能並肩努力。聆聽二位一席話，我似乎打了元氣針，精神百倍。祝二位百尺竿頭更上層樓。時間雖短非常感謝！

(譯者：孫寅華)

## 国際台湾研究プロジェクトの発足

文 ● 筑波大学台湾オフィス所長 大庭良介

2017年9月27日、筑波大学の主催するTsukuba Global Science Week 2017のメインセッションとして、Kick-Off of International Taiwan Studies (国際台湾研究プロジェクト発足式)を開催しました。本プロジェクトは、筑波大学に台湾研究センターの設置を目指したものです。台湾研究センターでは、分野の垣根を越えたテーマを扱い、また、国際社会の中での台湾と日本という視点での研究教育を展開したいと考えています。本発足式には、郭仲熙駐日副代表、林華章国立台湾体育運動大学学長、楊泮池

国立台湾大学前学長、戴昌賢国立屏東科技大学学長、など50名ほどの方々にご列席いただきました。また、許水徳名誉会長、陳全壽名誉副会長からは、ビデオレターにて、本プロジェクトへの応援をいただきました。この場を借りて関係者の皆様に御礼申し上げます。現在、国際台湾研究を進めるための基盤を筑波大学内で整備しています。今後とも皆様のご支援ご協力のほど、何卒よろしく申し上げます。



## 國際台灣研究計畫

文 ● 筑波大學台灣辦事處處長 大庭良介

2017年9月27日、在每年筑波大學的筑波國際科學週(Tsukuba Global Science Week 2017)中，今年被列為主場活動的Kick-Off of International Taiwan Studies (國際台灣研究計畫啟動儀式)在開幕式後盛大舉行。本計畫的目標是為了在筑波大學建立台灣研究中心，而國際台灣研究計畫則是跨越各領域的分際，以主題的方式，推展在國際社會中的台灣與日本觀點之研究與教育。當天親臨本計畫啟動儀式的貴賓有：駐日副代表郭仲熙、國立台灣體育運動大學校長林華章、國立臺灣大學前校長楊泮池、國立屏東科

技大學校長戴昌賢等，及其他與會者共約50名。在會中我們也播放了台灣校友會名譽會長許水徳與名譽副會長陳全壽的祝賀影片，現在國際台灣研究在筑波大學已漸上軌道，在此藉著這個機會向各位致上最誠摯的謝意，感謝各位給予我們的莫大支持。



# つくばグローバルサイエンスウィーク2017[TGSW]

文・孫寅華(淡江大学日本語学科)



つくばグローバルサイエンスウィーク2017[TGSW]は2017年9月25日～27日、3日間にわたって、つくば国際会議場にて開催されました。

筆者は台湾代表として出席させていただきました。今回、第3回OAC（「海外同窓生ネットワーク年次総会」）の発表項目は、大学側が事前に学生代表に聞き取り調査を行った結果、4つの項目が設定されたとのことでした。

わたくしは主に [Topic 4卒業後に見る母校UTの印象について]と指定された題を年次総会で発表させていただきました。その中、「発表者がUTを志望した動機」や「自国におけるUTの認知度や留学希望者の動向」などの小項目について、筆者なりの考えで意見を出しました。中でも「留学希望者に向けたUTのおすすめポイント、自国でのUTの認知度を向上するためにUTができる活動の提案」という点については、

・台湾における学会で、たとえば台湾日本語学会・台湾日本語教育学会など、国際シンポジウムを行う際にして基調講演や

要請発表など、母校の学者を推薦し、お招きすること。

・客員教授として母校の学者をお招きして台湾の各大学に来ていただき母校を印象付け、好評を得ることの一助とする。

・台湾の各高等教育機関と交換留学・短期留学・ダブルディグリーのシステムの確立や姉妹校の協定なども目下重要なこと。

・UTに来てもらうために招致活動として奨学金の提供や完備した低価格の学生寮なども不可欠である。

というように、会議中提出させていただきました。

最後に、

「手にしたテキストの分野はそれぞれでも、アート、アスリート志す分野はそれぞれでもこの空のした、その日々の一つ一つがかけがえのないあなたのページになるだろう」—「筑波の風景」より

確かにわたくしにとって筑波での生活は、大学院の短い一時の筑波の年月にもかかわらず、人生のかけがえのないページになっているのではないだろうかとつくづく感じております。



## 後記

後輩の何承融さんのご好意にあまえて、大会の合間を縫って、30年ぶりの一ノ矢寮を訪ねました。もとより方向音痴なのですが、そのうえ周りの様子も時間とともに変わっていたので、学生時代に入っていた部屋はとうとう見つからずに学校を出てしまいました。残念でなりませんでした。

# 筑波国際科学週2017[TGSW]

文・孫寅華(淡江大学日本語文学系)

筑波国際科学週2017[TGSW]2017年9月25日～27日、於筑波国際会議場舉行为期3天的會議。

筆者以台灣代表身分參加大會。同時在第3屆OAC（「世界校友聯誼年度大會(海外同窓生ネットワーク年次総会)」）會議前，大學端先做了學生代表意見調查，規劃了4個報告主題。筆者被指定報告項目為[Topic 4畢業後所見母校筑波大學(UT)的印象]。其中有關[當初選擇筑波大學(UT)的動機][在台灣筑波大學(UT)知名度以及希望出國留學者的動向]等子項目發表了筆者的看法。尤其[畢業校友針對大學該如何招攬有意出國留學者，以及提升在台灣知名度的建議]一項，做出如下建言。

・在台灣各個學會，例如[台灣日本語學會]，[台灣日本語教育學會]等舉行國際學術研討會時，邀請母校學者專家做專題演講，或論文發表。

・延攬母校學者至台灣各大學進行客座講授，有助提升母校印象。

・與台灣各高等教育機構進行交換留學，短期留學，簽訂雙學位制，締結姊妹



校等等為當前要務。

▪ 提供獎學金，以及設備完善之低價學生宿舍以利招攬來母校之留學生。

此次重返母校筆者感觸良深，誠如[筑波風景]刊物中所言：

[儘管在我們手中的教科書領域不同，藝術、運動、各有不同所歸，然而同一個星空下，每一天每一日點點滴滴都將成為我們無可取代的人生篇章。]

的確，筑波母校研究所的短暫時光已然成為筆者人生中無可取代的一頁。



## 後記

感謝學弟何承融熱忱開車接送，得以於會議期間抽空造訪睽違30年的[一ノ矢]學生宿舍。遺憾的是原本就是大[方向癡]的我，再加上週遭景觀改變，居然認不得當年自己入住的4號棟4-1，無功折返懊惱不已。

# 台湾人若手カフェ：サイエンスとキャリアパス

12月16日に台湾人留学生のためのイベント、台湾人若手カフェ：サイエンスとキャリアパスを筑波大学にて開催しました。

午前中のサイエンスカフェでは、国立台湾大学生命科学系 丁照棟氏をお招きし、特別講演を開催しました。その後、各分野の台湾人留学生5名が自身の研究発表を行い、参加者で議論をしました。議論は、予定時間を超えて大いに盛り上がりました。

午後のキャリアパスカフェでは、筑波大学卒業生からは、台北駐日経済文化代表處 郭仲熙副代表のご挨拶をはじめ、ミュー

ゲイト株式会社代表取締役 謝中天氏、株式会社アシックス 大沼和範氏など第一線で活躍する企業の方々より講演をいただきました。質疑応答も多く、活発な意見交換が行われました。

その後、留学生、登壇者の懇談を目的とした意見交換会の場を設け、交流を図りました。

今回のイベントを通して50名近い参加者がありました。今後も筑波大学台湾オフィスでは、日本においても、台湾人留学生の活動をサポートし、留学生同士、また卒業生や校友会とのネットワークを広げる活動をしていきます。



# 台湾年輕人座談會：喝咖啡聊科學與求職就業分享會

12月16日我們在筑波大學，主辦了一個為台灣留學生而辦的活動：台灣年輕人座談會：喝咖啡聊科學與求職就業分享會。

在上午的「喝咖啡聊科學」活動中，我們邀請到國立臺灣大學生命科學系的丁照棟教授，她遠道而來，給我們一場特別演講。之後由五位不同領域的台灣留學生與研究者，上台發表各自專精的研究主題，並且和在座的學生們踴躍互動，場面十分熱烈，還超出預期的時間許多。

下午是「求職就業分享會」的時間，很榮幸我們邀請到幾位優秀的校友，特別來到筑波大學，與各位在學的學弟妹分享工作上的人生經驗。從致詞的台北駐日

經濟文化代表處的副代表郭仲熙先生，到在日本創業成功的Mu-gate董事長謝中天先生，還有在跨國企業運動用品亞瑟士工作，並派駐過台灣數年的大沼和範先生，都給了我們極為精采的演講，也激發了在座學生積極的討論與問答。

後段的活動是讓學生與演講者有更深入的互動而設置的意見交換時間。這次的活動讓我們非常感動，因為在繁忙的考試時期，卻有將近50位的留學生來參加。此後筑波大學台灣辦事處，就算在日本也將盡心致力於支持台灣留學生的活動，並期待未來能擴展留學生、畢業生與校友會之間的合作，讓彼此的聯繫更加緊密。



**台灣年輕人座談會** 台湾人若手カフェ  
~喝咖啡聊科學與求職就業分享會~

2017年12月16日(六) 10-19點

筑波大學 Global Village Community Plaza

台灣留學生、年輕學子、對台灣有興趣的人士

參加無料 予約不要

第一單元：台灣留學生之咖啡聊科學  
10:00-10:10 歡迎 (講者：駐日台北經濟文化代表處 科學科副科長)  
10:10-10:40 特別演講 (丁照棟 - 國立台灣大學生命科學系)  
10:40-11:00 研究發表 1 (林建雄 - 生物環境科學研究所 植物科學專攻)  
11:00-11:30 研究發表 2 (陳淑芬 - 動物環境科學研究所 物理・分子工學專攻)  
11:30-11:40 研究發表 3 (林建雄 - 生物環境科學研究所 植物科學專攻)  
11:40-12:00 研究發表 4 (蔡嘉誠 - 生物環境科學研究所 生物資源科學專攻)  
12:00-12:30 研究發表 5 (梁祥光 - 醫學部中心)

第二單元：台灣留學生之求職就業研討會  
14:00-14:05 歡迎 (大橋和雄 - 教授、筑波大學國際部長)  
14:05-14:10 歡迎 (蔡仲熙 - 台北駐日經濟文化代表處副代表)  
14:10-14:20 關於在日本的求職活動 (大沼和範 - 筑波大學教授)  
14:20-15:00 給年輕人的話：留學生的就業與職業發展 (謝中天 - 台北駐日經濟文化代表處副代表、KDDI シニアアドバイザー、工業技術研究所 博士)  
15:00-15:30 共同之就業現狀 (吳正才 - 筑波大學教授、ASICS)  
15:30-16:00 共同之就業現狀 (吳正才 - LAHO Global 董事長)  
16:00-16:30 共同留學生學業上之現況 (台灣留學生會)  
16:30-16:45 MEDICAL Financial Group 之國際化教育與國際人才需求 (林建雄 - 筑波大學 市場部部長)  
16:45-17:30 交流意見討論時間

18:00-19:00 歡迎 (大橋和雄 - 教授、筑波大學副校長)

**第一單元：台灣留學生之咖啡聊科學** (講者：駐日台北經濟文化代表處 科學科副科長)

10:00-10:10 歡迎 (講者：駐日台北經濟文化代表處 科學科副科長)

10:10-10:40 特別演講 (丁照棟 - 國立台灣大學生命科學系)  
My research experience and interactions with Japanese scholars

10:40-11:00 研究發表 1 (林建雄 - 生物環境科學研究所 植物科學專攻)  
Researching of Deep Seated Mass Movement by Shurpin, Fens, and Shallow Landslides in the East Coast Region of New Zealand

11:00-11:30 研究發表 2 (陳淑芬 - 動物環境科學研究所 物理・分子工學專攻)  
Effects of H2O2 flux pre-heating for photobiotic performance of prokaryotic larval cells

11:30-11:40 研究發表 3 (林建雄 - 生物環境科學研究所 植物科學專攻)  
A novel application approach of cellular nanocrystals in insect protein

11:40-12:00 研究發表 4 (蔡嘉誠 - 生物環境科學研究所 生物資源科學專攻)  
Conversations between insect and plant: A novel strategy for pest management

12:00-12:30 研究發表 5 (梁祥光 - 醫學部中心)  
Connecting for Breakthroughs: From Physics and Medicine to Biomedical Engineering

**第二單元：台灣留學生之求職就業研討會** (講者：駐日台北經濟文化代表處 副代表)

14:00-14:05 歡迎 (大橋和雄 - 教授、筑波大學國際部長)

14:05-14:10 歡迎 (蔡仲熙 - 台北駐日經濟文化代表處副代表)

14:10-14:20 關於在日本的求職活動 (大沼和範 - 筑波大學教授)

14:20-15:00 給年輕人的話：留學生的就業與職業發展 (謝中天 - 台北駐日經濟文化代表處副代表、KDDI シニアアドバイザー、工業技術研究所 博士)

15:00-15:30 共同之就業現狀 (大橋和雄 - 教授、ASICS)

15:30-16:00 共同之就業現狀 (吳正才 - LAHO Global 董事長)

16:00-16:30 共同留學生學業上之現況 (台灣留學生會)

16:30-16:45 MEDICAL Financial Group 之國際化教育與國際人才需求 (林建雄 - 筑波大學 市場部部長)

16:45-17:30 交流意見討論時間

**情報交換會**

18:00-19:00 歡迎 (大橋和雄 - 教授、筑波大學副校長)

# 書道家 杜忠誥先生

杜忠誥先生は、台湾の著名な書道家であり漢学者でもあります。1990年に筑波大学芸術学修士号を取得後、台湾に帰国しました。1992年には台湾師範大学博士課程に入って古文字学の研究を進め、2001年に博士号を取得しました。

日本への留学中には、今井凌雪と谷村憲齋両先生の勧めにより銀座鳩居堂の画廊で留日記念書道展を開催、青山杉雨や小林斗盦、成瀬映山等の書道篆刻界の先達も直々に足を運びました。

帰国後は台湾師範大学で教鞭を執り2010年に早期退職、翌年には明道大学講座教授として招聘され、現時点では台湾唯一の正式な書道専門の博士課程の設置に携わりま



した。現在は再び退職し、書道芸術の創作や文化研究に従事しています。

2017年11月から12月にかけて国父記念館国家画廊で開催された「凝煉與幻變—杜忠誥七十書藝展」では、その一新された風格が話題になりました。折りしも台湾に出張中であつた永田学長は、名高い筑波大修了生の盛大な展覧会が行われていることを知り急遽スケジュールを調整して駆けつけ、杜忠誥先生自らの案内により素晴らしい作品の数々を鑑賞しました。これは永田学長と杜先生との一コマです。

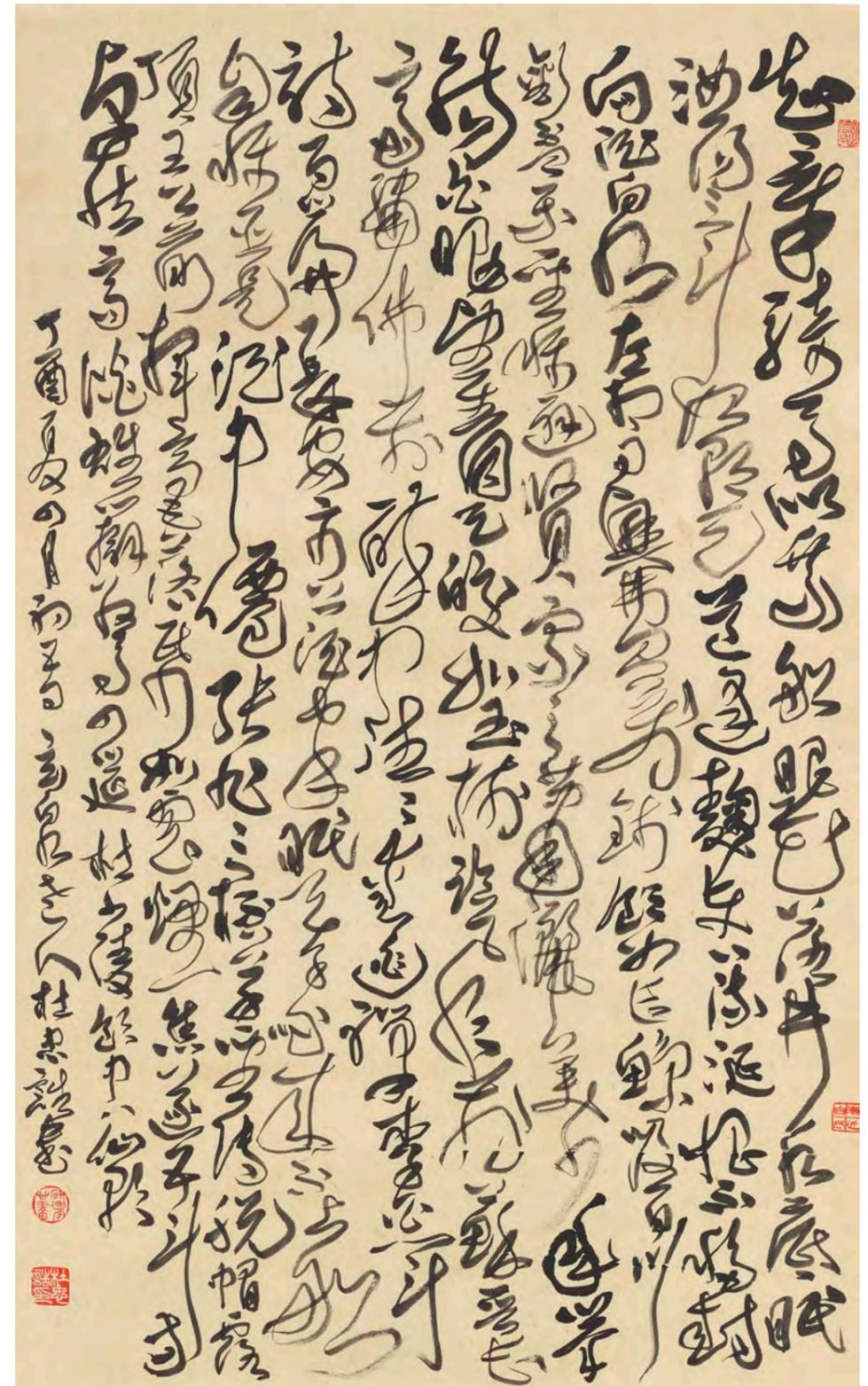
# 書法家 杜忠誥老師

杜忠誥先生是台灣著名書法家及漢學家，1990年完成筑波大學藝術學修士學位後返台，1992年又考入台灣師範大學博士班專研古文字學，2001年獲文學博士。留日歸國前，曾在今井凌雪與谷村憲齋兩先生的聯合推薦下，在銀座鳩居堂畫廊舉辦留日記念書法展，書法篆刻界前輩包括青山杉雨、小林斗盦、成瀬映山等，都曾親臨觀展。

杜先生返台後即任教於台灣師範大學，並於2010年提前退休。隔年又應聘擔

任明道大學講座教授，參與申辦設立書法博士班，為目前台灣唯一正式的書法專業博士班。目前已再度退休，專心從事書藝創作及文化相關研究。

2017年11月至12月間，應邀在國父紀念館中山國家畫廊舉辦「凝煉與幻變—杜忠誥七十書藝展」，風格面目又一新變，造成一時轟動。永田校長適巧因赴台洽事，得知傑出校友盛大辦展，特別撥空前往參觀。杜先生親自現場導覽，賓主盡歡。此為永田校長與杜先生在展場合影之一。



《杜甫飲中八仙歌》

12017・108×68cm

草書の連綿とした筆運びの特質を生かした軽快な筆遣いは、美酒に酔いしれる八仙たちの様を表す。

此作以轻快的筆調書寫，利用草書筆勢的連綿特質，開合欹側，呼應詩中飲中八仙的醉態。



《潜龍（覆拓書）》  
2017・118×64cm

檜のテーブルに書いた字を紙に写し取り、それを水で流してできた作品。右端の字は、易經乾卦の文。

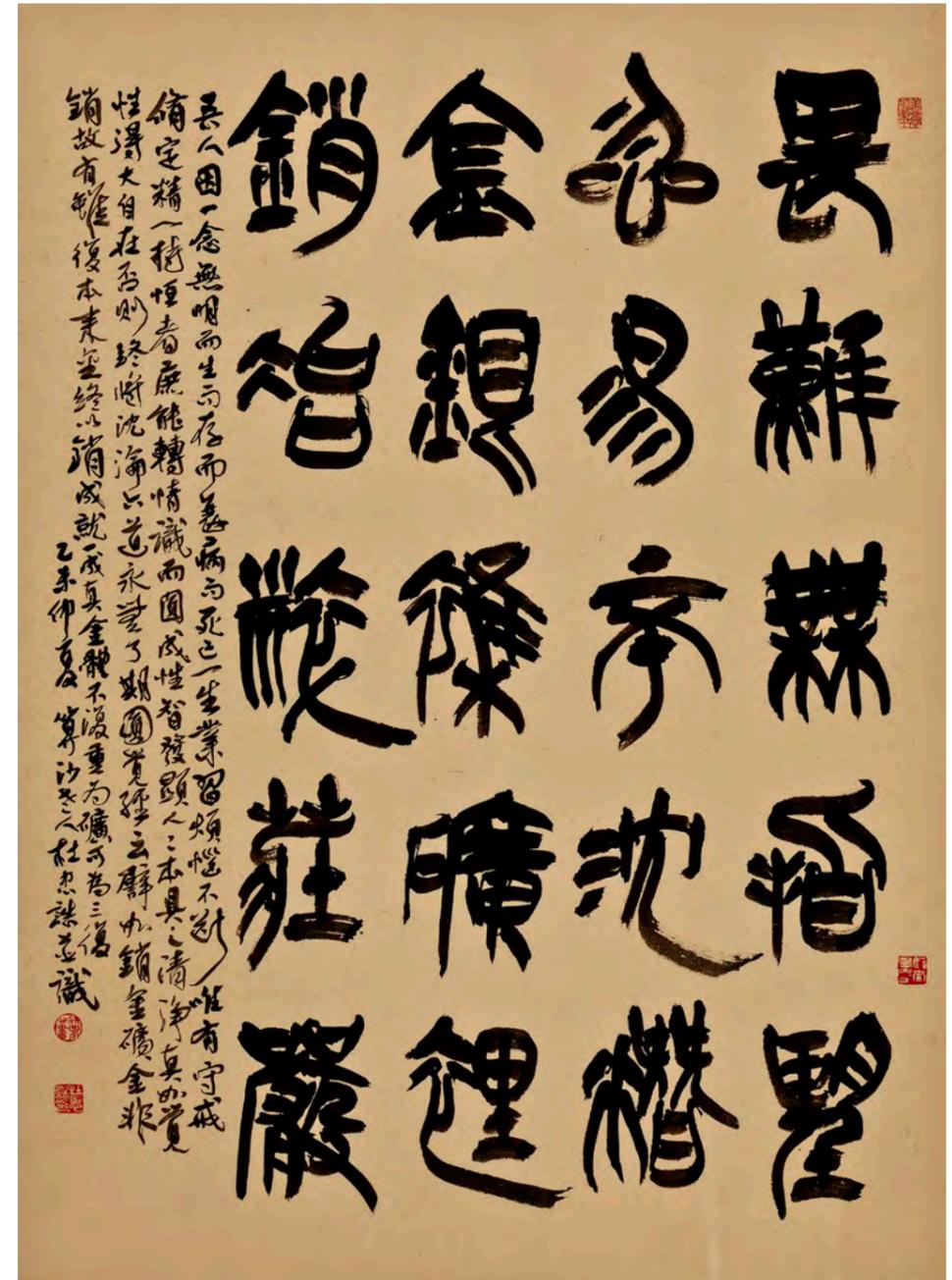
此件先以大筆寫於檜木桌上，再取宣紙覆於其上，以水洗之而成。右旁為易經乾卦象文語。



《天下為公》  
2017・70×69cm

右側は緊密で左側は空間を多く取った配置により虚と実の対比を表し、特に筆使いと墨の濃淡を重視した。後ろの言葉は、政治に携わる人の心構えと内省を期して書かれている。

此作布局右緊左鬆，力求虛實相生之趣，特重筆趣與墨韻。跋語期能引發為政者之省思。



《自書畏難詩》  
2015・134×97cm

杜先生自作の詩で、大意は「人生の困難を畏れず人間としての基本を重視する。玉石混交の中からもそこから輝くものを作り出すことができる。」  
字体は篆書と隸書の間の「古隸」と呼ばれるもので、戦国、秦、西漢の頃によく使われていた。

此作釋文為「畏難無指，忽易不沉。金銀雜礦裡，銷冶粹莊嚴。」字體介於篆、隸之間，一般稱為「古隸」，通行於戰國、秦、西漢之間。文字內容是杜先生自己作的詩句。

## めくるめく台湾生活

文・住友智子さん（第三学群社会学類2005年卒 象設計集団・台湾事務所）

4年住んだ一の矢宿舎からハイエースを借りて引越中、志望先の設計事務所から電話で呼ばれた。「台湾でだったら雇える」の提案の一つ返事し、卒業後の6月には、中国語も話せず台湾・羅東の地にやって来た。

この間、仕事で台東や、北海道の十勝でも暮らし、2014年、タイヤル族の人と出会い、結婚。子どもを生んで1年間は武塔村に、現在は松羅村に住み、山の麓から羅東に出勤しています。この12年間、我ながらバタバタしていますね。

つくばでもそうでした。いろいろな学群の授業に、バイトに、サークルに、仲間の集まりに。日本各地、世界各地からの人に出会

## 遇見台灣

借了一輛廂型車正在搬離住了4年の一の矢宿舎，投了履歷的設計事務所來了電話。在「如果可以去台灣就僱用妳」的前提下，雖然不會說中文，我來到了台灣羅東。

就這樣，輾轉於台東，也待過北海島十勝，最後2014年遇到了泰雅族原住民的外子，結婚生子。小孩剛出生的1年住在武塔村，現今搬到松羅村。每天從半山腰到羅東上班。這就是我，12年間山上和工作地往返奔波。

筑波時光也是如此，穿梭各學群上課、

う機会があり、どこにいてもやっていける基礎が、その時にできたと思います。

何も話せなかった時から、「見た感じ台湾人と思った」と言われる現在まで、台湾の人に暖かく、助けられてきました。ご馳走なったり、暑い中歩いていると「大丈夫？送っていこうか」との声かけも。日本人に世話になったと言うおじいさん、おばあさんも。いつか何か恩返しをしたいと思っています。



打工、社團、友人聚會等等。有機會認識來自日本各地，世界各地的人們，因此奠定了日後無論身處何處都能泰然處之的能力。

從剛來台灣全然不會中文，到現在經常被別人說「看起來好像台灣人」，長久以來一直深受台灣朋友的溫暖以待。請我吃飯，連大熱天走在路上都會有人說好熱啊，送妳一程吧。噓寒問暖，點滴在心。還有經常掛在嘴邊說以前如何受到日本人愛護的老爺爺老奶奶…希望有一天能夠得以回報。

タイヤル族はお祝いごとには豚を殺して、親戚みんなで分け合います。婚約、結婚、退職、就職、合格、兵役、新築等々。本当に生きている豚をしめるところからするときと、少し便利に市場で開かれたものを持ってきてもらって解体するということがあります。写真は開かれたもの

泰雅族每到慶典就會「殺豬」與親朋好友共享，舉凡訂婚、結婚、退休、就業、放榜、當兵、搬家等等喜慶都會。有時候真的完全從一頭活生生的豬開始解體，有時會圖方便請菜市場的攤子幫忙。照片上是族人共同合作，男人負責殺與分解，女人負



を男が解体、女が内臓を処理、と分業で各家族に平等に各部位が分けられています。少し、量が違ったり、部位が足りなかったら喧嘩にも発展するという…写真は主人の姐が結婚したときのものです。あと、朝一から殺し始めるのですが、朝一から夜まで飲んで飲んで飲んで…という感じです。

責處理内臓和把各部位均分給各個家族。有時候量沒有分平均、或是某些部分不夠分的時候，還會吵架呢！這張照片是我先生的姊姊結婚時拍的。還有，如果一大早就開始「殺豬」，整個部落就是從早到晚一直喝酒一直喝酒，大家不停地喝到茫的感覺。

タイヤル族というより、山の生活という方が正しいのかもしれませんが、山の部族ということで、山の土地が分配されています。それを利用して、シイタケ生産が盛んです。私の家族は自分たちで山から木を切り出し、穴を開け、菌を植え付け、収穫し、たき

泰雅族可以說是一個以山為生的部落，利用山上的資源，生產香菇。我們的家族會自己從山上找到合適的林木，在林木上挖洞植入菌種，香菇長大收成後，會用炭火將香菇烘乾。現在也很多



火でシイタケを乾燥させています。今は機械の乾燥機を使う人たちがいるみたいですが、乾燥時は寝ずの番で火をたきます。この過程を去年から今年にかけて、私も初めて手伝いました。写真に写っているのは、主人と日本語が話せる主人のお婆さんです。

人使用機器來烘乾香菇，但我們還是遵循古法，晚上不睡覺，輪流燒火烘乾香菇。這個過程從去年到今年，我也是第一次下去幫忙。照片上的是我先生和會講日文的婆婆。

大阪の街中で育ったのですが、ここに来て、豚の内臓を処理するわ、鶏もしめるわ、シイタケも植えるわ、野菜も植えるわと、本当にいろいろな体験をさせてもらっています。仕事柄もいろいろなところに行かせてもらい、振り返ると我ながらすごい生活を台湾で送っています。

我是在大阪這樣一個大城市裡成長的，而現在來到這裡，處理豬的内臓、殺雞、種香菇、種菜…，真的是體驗到了各式各樣的事情。加上我的工作也會到很多地方跑來跑去，驀然回首，我在台灣的生活實在是好厲害呢！





## 筑波大学台湾校友会&台湾茨城県人会合同親睦会

3月21日に台北市内の日本料理店で両会の合同親睦会が行われました。

各会より計約30名の参加者には筑波大学からはベントン副学長、台湾人及び日本人の筑波大学の学生さんも含まれています。

茨城県人会の幹事は、筑波生活では

必ずお世話になる銀行、常陽銀行様。大変懐かしい茨城ネタとともにおいしいお食事をいただき、大いに盛り上がりました。

この時、新しく数名の校友が入会されました。



## 筑波大学台湾校友会與台湾茨城県同郷會聚會

筑波大学台湾校友会與台湾茨城県同郷會於3月21日聚會交流。當日約30人與會，包括Benton副校長，以及台灣留學生、日本筑波大學學生等。

席間，茨城県同郷會幹部以及和筑波生活息息相關的常陽銀行，酒酣耳熱說了許多令人懷念的過往點點滴滴，熱鬧盡興。

當場數名校友立即登記入會。



## 筑波大学台湾校友共聚一堂

台南 (2017年10月)

2017年10月18日、筑波大学台湾オフィス所長の大庭先生と筑波大学国際室の太田主任の成功大学ご訪問に合わせて、成功大学博物館に勤務する顧盼先生、若手の校友陳佳欣さん、高雄から駆けつけた李柏旻先生が有名な牛肉鍋を囲みました。古都台南で、異なる年代の筑波の卒



業生たちが筑波の変化やTGSW活動、その他諸々の話題で歓談できるというのは、感慨深く貴重な時間でした。

2017年10月18日、藉著台湾辦公室大庭教授與國際室太田主任訪問成功大學之際，南部的校友們特地邀請了他們，在台南市一同享用有名的牛肉火鍋。當天有成功大學博物館的校友顧盼老師，與年輕校友陳佳

欣小姐，以及從高雄趕來的李柏旻老師，在古都台南，跨越不同年代的校友，能這樣歡聚在一起，聊聊筑波的變化、TGSW的活動、以及所見所聞，極為難得。



台中 (2017年10月)

2017年10月20日、台中市内の日本式居酒屋に台中地区の筑波大学の校友が集まりました。母校筑波大学からは台湾オフィス所長の大庭先生、国際室の太田主任、台湾オフィス秘書の林さんもお越しくださいました。卒業から30年近く或いは20余年が経つ校友たちは、それぞれに筑波で学んだ若かりし頃の思い出話や現在大学で教育に携わる者としての経験や



考えについて、花を咲かせました。今後更に台中地区の校友たちが参加して下さることを願っております。

2017年10月20日、台中地區的校友在市區一家日式居酒屋聚會，邀請母校(筑波大學)台灣辦公室大庭教授、國際室太田主任與林秘書一起用餐，校友分別已經畢業近

三十年與二十餘年，大家一起分享當年在筑波求學時的年少回憶，以及目前從事大學教育的經驗與看法，也希望今年會有更多台中地區校友一起參加。



## ユニバーシアードの応援

昨夏、台湾にて開催された第29回ユニバーシアード競技大会に、筑波大学からは10の競技に23名の選手が参加しました。

筑波大学台湾校友会からは、筑波大学選手団へパイナップルケーキ60箱を差し入れました。喜んでいただけているといいですね。

8月23日、台湾へ留学中の本学学生が競泳競技の会場へ応援に駆け付けました。学生らは、筑波大学の法被（はっぴ）を着て、筑波大学校友会の旗を振り、男子200m平泳ぎ決勝に出場した大久保琳太郎選手



(体育専門学群3年)をはじめとする日本人選手に対し、大きな声援を送りました。

## 為世大運選手加油



去年的夏天，第29屆世界大學運動會在台北舉辦，筑波大學共有23位選手來台，分別參加10個競技項目。

筑波大學台灣校友會贈送了筑波大學的世大運選手們60盒的鳳梨酥，希望選手們會喜歡。

3月23日，在台灣留學的筑波大學學生特地到場為世大運的游泳比賽選手加油。學生穿上筑波大學的法被（外套式的上衣，是傳統和服之一種），揮舞著筑波大學校友會的校旗，慷慨激昂地為男200公尺蛙式的大久保琳太郎選手（體育專門學群3年級）等選手嘶聲吶喊加油。



## 筑波大学北部高校生向け国際プログラム説明会

台大生物技術館の会議室をお借りして、北部地区で初めての学部の公開説明会を行いました。夏休みを利用して帰省中の筑波大学在校生の林蓉瑄さんと頼柔慈さんにも、筑波での留学生活についてお話をいただいた他、筑波大学に合格したばかりの台湾の新一年生も集合し、それぞれの筑波大学を目指した道程や将来の展望についても分かち合いました。

お忙しい中ご参加くださいました学生の皆さんや保護者の皆さんには厚く御礼を申



上げます。

今年の夏休みにも国際コースの公開説明会を開く予定です。開催時期等ご質問がありましたら、筑波大学台湾オフィスの林秘書(02-3366-9313)までご連絡ください。

## 大學部國際學程北區說明會

這是第一次試辦在北區的大學學程公開說明會。我們特別商借了「台大生物技術館」的會議室，並邀請到回台灣放暑假的筑波在校生林蓉瑄和頼柔慈同學，到會場親自來分享她們的筑波留學生活。

8月18日並集合了今年剛考上的筑波大學台灣大一新生，他們也分別和大家分享了報

考筑波大學的心路歷程，以及對未來大學生活的展望。非常感謝百忙之中前來參加的各位同學家長，今年暑假也將盡力再次舉辦大學部國際學程公開說明會，期間如有任何問題都歡迎洽詢筑波大學台灣辦事處林秘書。

(02-3366-9313)



## Research Network in Tsukuba

文 ● 劉家銘 (生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 博士後期三年)

筑波は、先進の科学技術と科学研究の発展を目標とした若い都市で、日本宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、産業技術総合研究所 (AIST)、物質・材料研究機構 (NIMS) および理化学研究所 (RIKEN) 等の大型研究機構が置かれています。そうした中で、研究者育成の鍵としての役割を演じているのが筑波大学です。大学院と連携大学院 (外部機構の研究員が指導教授を担当) という二つのルートを通じ、修士・博士課程の学生に超領域的な研究能力を身に付けさせる一方で、外部機構も、潜在能力を持った学生を未来の研究員として選び、育て上げられるようになっていきます。筑波大学は近年、キャンパス・イン・キャンパス (CiC) 協力協定の締結を通して、国際的な学術交流を積極的に推し進めています。

筑波は一個以發展先進科技及科學研究為目標的年輕城市，境內包含日本宇宙航空研究開發機構(JAXA)、産業技術總合研究所(AIST)、物質・材料研究機構(NIMS)及理化學研究所(RIKEN)等大型研究機構。在這個架構中，筑波大學扮演著培育研究人員的關鍵角色。經由大學院和連攜大學院(由外部機構研究員擔任指導教授)的雙軌並行，使碩、博士學生具備跨領域研究的能力；相對的，外部機構則藉此挑選及培養有潛力的學生成為未來的研究員。近年，筑波

CiC協定の中でも大いに注目を集めているダブル・ディグリー・プログラム (DDP) は、修士・博士課程の院生に、異なった大学で学業を修めた上で、最終的に複数の学位の取得を要求する計画です。このような、国や領域を跨いでいける大学で博士学位を目指す私は、研究への憧れが満たされると同時に、多くの国際交流の機会にも恵まれています。将来は、これらの貴重な経験を生かして、筑波大学と台湾の研究機構との間のネットワークのために、貢献できたらと思います。

大學透過簽訂Campus-in-Campus (CiC)合作協定，積極地發展國際間的學術交流。CiC協定中備受矚目的Double Degree Program (DDP)，要求碩、博士學生在不同的大學完成學業，最終取得複數學位的計畫。在有能力進行跨國及跨領域的大學攻讀博士，除了滿足我對於研究的嚮往，同時也獲得許多國際交流的機會。期待自己未來能夠利用這些寶貴的經驗，為筑波大學與台灣的研究機構之間的Networking貢獻一份心力。



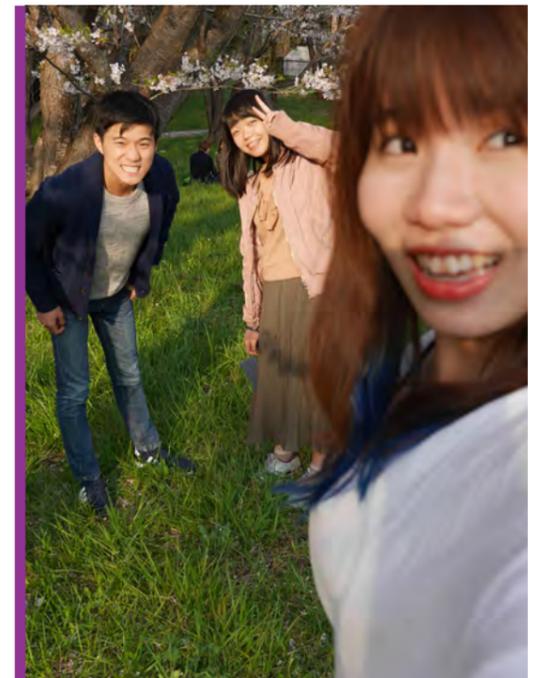
## DDP

文 ● 張威鈞 (Double Degree Program)

DDP計画は、正式名称をダブル・ディグリー・プログラムといい、国立台湾大学の生農学院と筑波大学の生命環境科学研究科によって2016年から始動した、二つの修士学位を一度に取得できる計画で、学生は各大学で一年ずつ学んだ後、最終的に英語の修士論文を一本提出すれば、卒業時に両大の修了証書が得られることになっています。一般的な学位との最大の違いは、教員が、この計画に加わった学生に対し、台湾と日本という地域の異なりを生かして、それと関わる研究を進めていくことを求め

る点にあります。例えば私の研究領域の場合、植物の病原菌は輸出入が容易ではないので、台湾と日本の同種の病原菌の差異を探ることが、研究の中の重要な一環です。また、指導教授が日台両国の教員の組み合わせであるため、研究の過程では、両大の異なった背景の先生方と絶えずコミュニケーションを図っていくことが、本計画に加わる学生にとっての最重要任務となります。将来、更に多くの皆さんがこの計画に参加してくれるよう、希望しています。

DDP計畫的全名是Double Degree Program，由國立台灣大學的生農學院與筑波大學的生物資源科學學群，於2016年啟動的雙碩士學位計畫，學生於兩校各待一年，最後完成一份英文畢業論文，畢業時可獲得兩校的畢業證書。與一般的學位最大不同之處在於，老師希望參與此計畫的學生能夠利用台灣和日本的異地性進行相關的研究，例如，在我的研究領域中，由於植物病原菌不易進出口，因此比較台灣和日本的同種病原菌差異成為我的研究中重要的一環。此外，由於指導老師由台灣和日本兩國的老師組成，因此，在研究的過程中，不斷地和兩校不同背景的老師溝通成為參與這個計畫的學生最主要的任務。希望未來能有更多同學參與兩校的計畫。



## 筑波大学の新宿舎 —グローバル・ビレッジ

筑波大学では、更なる国際化を推し進めるため、全く新しい形態の宿舎グローバル・ビレッジが建設されました。一つのユニットには5つの個室と共同のリビング、キッチン、浴室、洗面所等を備えたシェアハウス形式で、少なくとも一つの個室は外国からの留学生、その他の部屋は日本の学生が申請できるようになっており、一つの家庭のようなユニットで、掃除等も分担して行います。更に、無料で使用できる大キッ

チン、大小会議室、和室などの公共設備も備えられています。

キャンパス内で本国の学生と留学生が日常生活の中で国際交流を深めることを目指して作られたこのグローバル・ビレッジは、去年の4月に学生たちの入居が始まり、現在も工事が進められています。完成すれば、500名以上の学生がここで生活を共にできることになっています。

## 筑波大学新宿舍—Global Village

筑波大学為進一步推動國際化，興建了全新型態的新宿舍Global Village。

以Share House的形式，一個單位有5個單人房，共同客廳、廚房、浴室、洗面所等，至少會將一個房間分配給外國留學生，其他的房間給日本學生申請，共同組成一個家庭單位，分擔清掃等工作。除此之外，還有可申請免費使用的大廚房、大

小會議室、和室等公共空間。此計畫乃為期待校園內的本地學生和留學生們，能在日常生活中，達到深化國際交流的目的，Global Village已於去年4月正式開始接受學生之入住，目前也繼續趕工建設，未來整個Global Village興建完成後，可容納500名以上的學生。



日本マインドをもった留学生育成のための学士課程プログラム

# 入学者募集!

日本で働きたい、日本と関わる仕事をしたいと思っている留学生のために、筑波大学が日本語のスキルと専門分野の教育を集中的に行うプログラムを開設しました。将来的に日本とあなたの国を結ぶスペシャリスト養成のためのプログラムです。



## 日本が好き 日本で学びたい 日本で働きたい スペシャリストを応援する4つのコース

### ■アグロノミスト養成コース

- 農林業に関する専門的知識を修得
- 進路先  
農林業分野での研究者・技術者、国内外での就農・農業指導者、グローバル企業や関連産業、大学院進学等



### ■ヘルスケアコース

- ヘルスケア分野の専門的知識を修得
- 進路先  
ヘルスケア分野の政策・管理者、研究・教育者、健康管理関連企業の開発技術者、大学院進学等



### ■日本芸術コース

- 日本の伝統芸術を広める教師やアーティスト、デザイナー、芸術に関する専門家の育成
- 進路先  
教師、アーティスト・デザイナー、企業、行政・自治体、大学教員、学芸員・研究員、大学院進学等



### ■日本語教師養成コース

- 日本語教育の実践力強化とそれを支える日本語・日本文化への深い理解
- 外国人のための日本語教師養成
- 進路先  
日本語教師養成の指導者、教師、企業、海外における日本語教育機関、大学院進学等



### スケジュール

出願時期/2016年4月7日~2016年4月13日

★ホームページより出願

入学試験/2016年5月16日~

入学日/2016年10月1日

★詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://jp-ex.sec.tsukuba.ac.jp/>

本件連絡先/

筑波大学Japan-Expertプログラム事務局

✉ [jp-expert@un.tsukuba.ac.jp](mailto:jp-expert@un.tsukuba.ac.jp)

日本語能力試験  
N3、N2で  
受験できます

入学後半年間集中的に  
日本語を勉強します

# BPGI

## Bachelor's Program in Global Issues

### 地球規模課題学位プログラム (学士)

The objectives of the Degree Program shall be to cultivate human resources who will acquire broad basic knowledge for gaining an overall perspective of global issues, who will enthusiastically seek on their own information and technology beyond their particular fields to resolve problems related to human beings and the environment, and who are capable of making decisions on optimal solutions from among many options. BPGI is a four-year degree program which is taught in English.

Degree to be acquired : Bachelor of Arts and Science

地球規模課題学位プログラム (学士) では、地球規模課題全般を俯瞰する幅広い基礎知識を身に付け、人間と環境に関する課題を解決するために分野を超えて必要な情報・技術を自ら意欲的に求めていく姿勢をもち、多くの選択肢の中から最適な解決を意思決定できる人材を育成します。本プログラムは、4年間の英語プログラムです。

取得学位：学士 (学術)

## Admission Schedule (Japan Standard Time)

- (1) Application submission (accepted online) : Noon, March 1 (Thu.), to 5 p.m., April 3 (Tue.), 2018
- (2) Entrance examination dates : May 17 (Thu.), to 18 (Fri.), 2018  
Note: Exams are given on any one of the above dates
- (3) Fall Semester starting date : October 1 (Mon.), 2018  
※The application information will be published on the website at the Mid-December or later, 2018.

### 入試情報 (日本時間)

- (1) 出願受付 (Web入力システム) : 2018年3月1日 (木) 12時~2018年4月3日 (火) 17時
- (2) 試験実施日 : 2018年5月17日 (木)、18日 (金)  
上記のいずれか1日に実施
- (3) 秋学期開始日 : 2018年10月1日 (月)  
※募集要項は12月中旬以降ホームページ上に公開。

University of Tsukuba Bachelor's Program in Global Issues Office

筑波大学地球規模課題学位プログラム (学士) 事務局

Email (問い合わせ先) : [bpgi-office@un.tsukuba.ac.jp](mailto:bpgi-office@un.tsukuba.ac.jp) Website (ホームページ) : <http://bpgi.tsukuba.ac.jp>

## What can you learn? 何が学べるのか?



## Characteristics of BPGI BPGIの4つの特色

### English program

英語プログラム

### Students take courses at the International Christian University (ICU)

国際基督教大学で基礎科目の一部を履修

### Interdisciplinary program

文理融合型の学修

### PBL (Problem/Program Based Learning)

PBL (課題解決型学習)

## Student Payment 学費等について

Estimated school expenses for the first year  
Total : ¥841,100 (As of September 1, 2017)  
Admission fee : ¥282,000  
Tuition : ¥267,900 (2<sup>nd</sup> six-month period for October to March)  
¥267,900 (1<sup>st</sup> six-month period for April to September)  
National Health Insurance : Approximately ¥20,000 (per year)  
Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research : ¥3,300 (4-years coverage)  
Note : Students who demonstrate excellent academic records may be exempted from paying half the tuition fee.

1年次に必要な学費等 合計 : 841,100円 (2017年9月1日現在)

入学科 : 282,000円

授業料 : 267,900円 (第2期分 (10月~3月))  
267,900円 (第1期分 (4月~9月))

国民健康保険料 : 約20,000円 (年間) 学生教育研究災害傷害保険料 : 3,300円 (4年間)

※学業優秀と認められる者は、授業料半額免除されることがあります。



Tokyo 東京 ↔ Tsukuba つくば 45min 45分 (Akihabara Station) (秋葉原駅)

Narita 成田 ↔ Tsukuba つくば 60min 60分

University of Tsukuba Bachelor's Program in Global Issues Office

筑波大学地球規模課題学位プログラム (学士) 事務局

Email (問い合わせ先) : [bpgi-office@un.tsukuba.ac.jp](mailto:bpgi-office@un.tsukuba.ac.jp) Website (ホームページ) : <http://bpgi.tsukuba.ac.jp>

## 筑波大学台湾オフィス便り

文●大庭良介（筑波大学台湾オフィス所長）

皆様、こんにちは。会報第二号おめでとうございます。昨年も皆様のお力をお借りしながら、スタッフの林佳瑤とともに何とか台湾オフィスの活動を進めて参りました。また、2016年4月からは、阿部ピーター淳一先生（写真右）をオフィス副所長として迎えました。阿部先生は現在、主に日本にて活動されていますが、しばしば台湾に来訪し、筑波大学と台湾との交流を進めていらっしゃいます。また、筑波側では太田大輔氏（写真左）が本学国際室スタッフとして活動を支えています。太田は昨年10月に3週間ほど研修のため台湾に滞在し、その間、校友の皆様には大変お世話になりました。

筑波大学と台湾は、その前身機関（東京教育大学や高等師範学校）の時代から、産官学民の様々な分野で人材交流を進めてきました。本オフィスでは、関係大学・機関等との学術交流活動支援、学生の相互派遣交流支援、校友会活動支援など、さらなる交流の加速と定着を目的に活動を進めています。

2017年1月1日現在、国立台湾大学、国立台湾科技大学、国立台湾師範大学、国立清华大学、国立交通大学、国立屏東科技大学、国立台湾芸術大学、国立彰化師範大学、国立政治大学、国立成功大学、国立台湾体育运动大学、輔仁大学、高雄医学大



学、東呉大学、国立防災科学技術中心と協定を締結しています。2016年度には、これらの大学と双方から約100名づつの学生が短期または長期の留学をしています。この数は2015年度のほぼ倍となります。これも皆様のご支援あってのことと考えております。この場を借りて御礼申し上げます。

また、高校への訪問（大学入試説明会）や、台湾産業界や台湾行政と筑波大学との仲介などもしています。

最後になりますが、筑波大学では「筑波大学基金」として、校友の皆様より寄付を集めております。学生への経済支援、学生の国際交流支援、学生及び団体の課外活動支援、附属学校の活動支援、大学と卒業生の交流支援、筑波大学スポーツ活動支援、附属病院活動支援を目的としています。詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。皆様のご厚意に感謝申し上げます。ご質問などありましたら、筑波大学台湾オフィスまでお気軽にお問合せください。

筑波大学基金ホームページ：<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/index.html>

校友の皆様のご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



## 筑波大學台灣辦事處

文●大庭良介（筑波大學台灣辦事處處長）

大家好。恭喜台灣校友會發行了第二期會刊。去年承蒙各位鼎力相助，我與林佳瑤小姐組成的台灣辦公室的活動才得以順利推動。本辦事處並在2017年4月，由阿部淳一老師接任副處長。阿部老師現在主要是在日本活動，但是常常來訪台灣，推展筑波大學與台灣之間的交流。另外，筑波大學的國際處，也指派太田大輔主任擔任台灣地區負責人，太田主任並於去年的10月到台灣研修了三個星期，這期間受到了多位校友的照顧。

筑波大學與台灣的淵緣深遠，從前身大學--東京教育大學、高等師範學校的時代開始，在產官學界及民間，均廣泛進行各領域之人才交流。本辦事處成立後，也致力於大學間的學術交流、交換學生的派遣、校友會的活動等，在各項交流活動上給予支援。

目前，我們在台灣擁有眾多的姊妹校，包括：國立台灣大學、國立台灣科技大學、國立台灣師範大學、國立清華大學、國立交通大學、國立屏東科技大學、國立台灣藝術大學、國立彰化師範大學、國立政治大學、國立成功大學、國立台灣體育運動大學、輔仁大學、高雄醫學大學、東吳大學、國家災害防救科技中心。筑波大學與這些大學間，在2016年度，有約100名的學生互訪，進行短期和長期的交換留學活動。這個人數約為2015年的二倍。這都是因為有了諸位的幫助與指導，藉這個機會，向大家致上最深的感



謝之意。

另外，本辦事處為了更加扮演好成為台灣與日本間橋樑的角色，也定期到台灣北中南各高中進行「大學入試説明會」，並且積極促成筑波大學與台灣的產業界和行政部門之間的合作。

最後，筑波大學以「筑波大學基金」的方式，提供給各位校友為母校捐款，基金用於支援清寒學生、支援學生國際交流活動、支援學生及團體的課外活動、支援附屬各級學校之活動、支援大學與畢業生校友們的交流活動、支援體育活動、支援附屬醫院之活動等。詳情請見以下網站，在此向各位校友致上最誠摯的感謝。有任何問題都歡迎與台灣辦事處接洽。筑波大學基金網站：<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/index.html> 再次感謝各位的厚愛，靜候諸校友蒞臨台灣辦事處，親臨指導。



台湾オフィスの活動は、以下のウェブサイトで紹介しています。

🌐 ホームページ：<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>

📘 Facebook：<https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

台灣辦事處的各项活動，請見以下網站：

🌐 官網：<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>

📘 臉書：<https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

## バイクでGo！ 台湾2泊3日？の旅。

文・大庭良介（筑波大学台湾オフィス所長・准教授）



台湾華語の教科書に必ずと言ってよいほど登場する花蓮・台東、どうしても行ってみたいと思っていました。台湾に来て2年ほどたった2017年の旧正月、ようやく時間を見つめることができ、台北から花蓮・台東へとツーリングに行ってきました。125CCスクーターの旅です。

2017年1月28日大晦日、快晴、台北～三峽～明池～梨山～太魯閣～花蓮。まずは山からアプローチ。午前7時に台北を出発し、三峽を経由して明池へ。木々が重なる期待通りの山路と、ところどころに広がる絶景、そして、何より空気が旨い。明池からは梨山を経由して太魯閣へ裏から侵入。途中、霧やら落石やらで、少し怖いところもありましたが、これこそ直接外気に触れるバイクツーリングの醍醐味。花蓮に着いたのは午後7時ころ。ホテルにチェックインして、花蓮の夜市へ行くも、人が多すぎて外から眺めるだけに。久々の長距離バイクで腕がパンパン、シャワーを浴び



てビールを飲み、腕に気功して熟睡。

1月29日元旦、晴、花蓮～海側道路～台東～池上～六十石山～紅葉温泉～旧林田移民村～旧豊田移民村～花蓮。腕は回復。二日目は海沿いを走りたい、そして、戦前の日本人入植地に行きたい、との思いで、まずは海沿いの環島1号線を飛ばして台東へ。山と違う開かれた開放感がとても心地良い。北回歸線もチェック。台東はそこに、今度は197号を通って谷側へ。いきなり舗装がなくなる。砂利道で車も通っていない、人もいない。路は滑るし、ところどころ崖なのにガードレールもない。

## 機車遊花東Go！

文・大庭良介（筑波大学台湾辦事處處長・副教授）

幾乎台灣的華語教科書上都一定會提到花蓮、台東，所以我一直很想去花蓮、台東一遊。我來台灣差不多二年左右的2017年農曆年，終於有了空閒的時間，所以就真的走了一趟花蓮、台東，而且是125cc的輕型機車之旅。

2017年1月28日、除夕、晴天，台北～三峽～明池～梨山～太魯閣～花蓮。先從山路開始吧！早上七點我就從台北出發，先走

山路，經過三峽、往明池。沿途是林木扶疏的山路，有時突然會遇見開闊的絕美景觀，更讓我感到心情愉快的則是山上新鮮的空氣。到了明池之後，我沿途經過梨山，之後往太魯閣的方向繼續前進。這段路上不只有濃霧，還有落石，有的地段的確讓人有些害怕，不過像這樣可以直接親身接觸戶外，就是騎機車旅行之妙處啊！抵達花蓮時已經是晚上七點了。我先到旅館辦理住宿之後，本來想到有名的花蓮夜市逛逛的，可惜人潮擁擠，我只在夜市外頭看看就離開了。一整天的長距離騎乘，手臂也開始又酸又脹，淋過熱水澡、喝了啤酒、練了氣功之後，一躺下就進入熟睡狀態了。

1月29日、大年初一、晴天，花蓮～濱海公路～台東～池上～六十石山～紅葉溫泉～舊林田移民村～舊豊田移民村～花蓮。手臂已經恢復得差不多了，第二天我想要走海路，去看看戰前日本時代的殖民地，所以我沿著一號線一路奔往台東。海路有著與山路不同的遼闊的感覺，也讓我心情十分愉快，跨過了北回歸線之後就快到台東了。這次我轉入197號道路，往山谷方向移動。此時，路況突然變成不是柏油道路了，變成是車子也無法行駛的小石頭路，路上杳無人煙，不僅路面溼滑，有的路段還是懸崖，甚至路邊沒有柵欄。我小心翼翼的騎了15公里後，終於又回到了柏油路上。很驚喜的是在路途





15kmほど緊張運転の後、無事舗装道路へ。途中、ポツンと佇む立派な樹との出会い。こんなところで出会いがあるのもバイクツーリングの醍醐味。池上から六十石山へと、田園と花畑の中をトコトコとドライブしながら、六十石山へ。六十石山、絶景でした。金針花の季節であればもっと素晴らしいのでしょうか。紅葉温泉でお風呂につかって休んだ後、旧林田移民村と旧豊田移民村へ。のんびりとした雰囲気。鳥居だけ残っている神社後や、今は道教寺院となっている神社跡など、その旧跡に思いをはせる。

1月30日台北に帰る予定日、朝方晴。花蓮～七星潭～旧新城神社～南方澳～台北。行きは山路だったので、帰りは9号線を使用して海側から。まずは七星潭、絶景。続いて旧新城神社へ。こちらは鳥居をくぐると本殿後にマリア様が鎮座されているという、昔は神社、今は教会。そのまま9号線で海沿いの路へ。ここは本当に怖かった。ガードレールのすぐ向こうは断崖絶壁。高所恐怖症の僕は、アクセルが開けられない。後ろの車に煽られる始末。何とか抜け出してホッとしていたのも束の間、南方澳の手前で後輪がパンク。だましまし何とか山を下って南天宮金媽祖まで辿りつき、

バイク修理店を探す。今日は正月2日目、もちろんどこも開いていない。たまたまシャッターの開いていた店に声をかけるもお断りされる。雨も降ってくる。警察署へ行ってお店を調べてもらうもどこも開いていない。相談して、警察署にバイクをしばらく置かせてもらうことに。疲れて海鮮店に入ってビールを一杯。これもまたバイクツーリング。そのままバスで台北へ。

2月4日正月明け土曜日、晴、台北～南方澳～道教総廟三清宮～台北皇池温泉～台北。パンクしたバイクを取りにバスで南方澳へ。バイク店も開いており、無事パンク修理完了。タイヤに釘が刺さっていました。その後、道教総廟三清宮へ。本殿の太上老君、元始天尊、太上道君は素晴らしく、しばらく三柱の前に佇みました。9号線で台北への山中を快調に進み、台北到着後に陽明山麓の皇池温泉へ。この温泉、よく行く公衆温泉なのですが、酸性の強い青硫黄泉で、とてもおすすめです。1時間半ほどお湯につかって帰宅。

学生の時以来、18年ぶりのバイクツーリングでした。台湾は山と海を同時に楽しめる数少ないところ。もちろん危ないところもあるけれど、ハプニングも込みで楽しめます。お勧めです。また行きたい。🍀

中遇上了一棵凜然聳立的神木，這也是騎機車旅行的妙處啊！池上開始到六十石山的路上，是在田園與花圃中漫然騎走，終於到了六十石山，景觀絕美！我想如果是金針花的季節，一定美得令人屏息吧！我到了紅葉溫泉泡了溫泉稍事休息之後，開始前往舊林田移民村和舊豐田移民村。村內充滿了閒散的氛圍，神社卻只剩下鳥居的部分，而原本神社的部分變成了道教的寺院，遠來親見這些歷史遺跡，不免有些感慨。

1月30日、預計返回台北、早晨晴朗，花蓮～七星潭～舊新城神社～南方澳～台北。前天從台北過來時我走山路，今天回台北我特地選擇了9號濱海公路。先騎到七星潭，又見一方美景。之後往舊新城神社移動，穿過鳥居後是本殿的後面，鎮宮的神祇卻是聖母瑪莉亞。過往是神社，而如今都變成教會了。就這樣繼續沿著9號濱海公路騎乘，這個路段異常的可怕，因為一衝過道路邊的柵欄就是斷崖絕壁了，有懼高症的我，害怕到無法加速，只能被迫趕在後方的車輛逼著前進，慢慢終於度過了這個恐怖路段。但沒多久，就在離南方澳不遠處，後輪居然爆胎了。無計可施的我，只好先牽車走到山下，到了南天宮媽祖廟附近，想要找一家能修理的店家，可惜今天是台灣的大年初二，所有的機車行都歇業。看到一家鐵門開一半

的店家衝過去詢問，也被拒絕。偏偏這時又下起了雨來，我走進警察局請求幫助，警察幫我打了幾通電話，也都找不到有營業的機車行，最後決定先把摩托車寄放在警察局裡。顛波至此，我感到身心俱疲，隨意進了家海產店叫了杯啤酒，心裡想著：或許這也是騎機車旅行才有的難忘回憶啊！那天，我只好搭公車回台北。

2月4日、年後的第一個週六、晴，台北～南方澳～道教總廟三清宮～北投皇池溫泉～台北。為了騎回因為爆胎被留在宜蘭的機車，我再坐公車前往南方澳。很順利的找到機車行，把車修好了，爆胎原因是真的有釘子刺破了輪胎。重新騎上機車後，我順路去了道教總廟三清宮，大殿上供奉的是太上老君、元始天尊、太上道君，肅然的氣氛都讓我忍不住在殿前佇足。我沿著9號公路馳騁一路返回台北，到了台北之後轉進了陽明山麓的皇池溫泉。這家我常去的溫泉，設有大眾池，泉質是強酸性的青硫黃泉，我推薦各位有機會可以來體驗看看。大概泡了一個半小時之後，平安返家。

這是從學生時代以來，對我來說睽違18年之久的機車旅行，並且台灣的東部是一個同時可以享受山與海之美景的地方，雖然這趟旅行有些危險，但是包含這些意外也全都是旅行的樂趣啊。我推薦花東，還想去！🍀

(譯者：林佳瑤)

# 筑波大学台湾校友会規約

【名称】  
第1条 本会は「筑波大学台湾校友会」と称する（英語名はUniversity of Tsukuba Taiwan Alumni Associationとし、UTTAAと通称する）。

【趣旨】  
第2条 本会は、会員相互の親睦をはかり、日台両国の相互交流と友好発展に寄与することを趣旨とする。

【活動】  
第3条 本会は、第2条の目的を達成するため、名簿作成、校友及び筑波大学との交流協力、親睦会、その他、会員が提案する活動などを行う。

【会員】  
第4条 本会は、下記の該当者で構成する。  
(1) 筑波大学または前身となる大学の学群・大学院の卒業・修了者  
(2) 筑波大学に学位請求論文を提出し学位を認定された者  
(3) 一ヶ月以上筑波大学に在籍し学習・研究等を行った者  
(4) 一ヶ月以上筑波大学に滞在し教育・研究等に從事した者  
(5) 本会の入会希望者は、幹事会の定めるところにより入会の申し込みを必要とする。

【賛助会員】  
第5条 本会の発展に多大な貢献のあった者及び本会の趣旨に賛同する者で、会長・副会長等が認める者は賛助会員となることができる。

【退会】  
第6条 会員は個人の事情でいつでも退会できる。

【総会】  
第7条  
(1) 総会はすべての会員をもって構成する。  
(2) 総会は次の事項について決議する。  
一 会員の除名  
一 会長、副会長の選任または解任  
一 会則の変更  
一 会計監査の承認  
(3) 総会は定時総会として年1回開催するほか、必要がある場合に開催する。  
(4) 総会は幹事会の決議に基づき会長が招集する。  
(5) 総会の議長は会長がこれに当たる。  
(6) 総会における議決権は、会員1名につき1票とする。  
(7) 総会の決議は総会出席者の議決権の過半数をもって行う。  
(8) 会員は代理人によってその議決権を行使することができる。  
(9) 総会への発議は幹事会を通しておこなう。  
(10) 総会の議事については、議事録を作成し、議長が署名押印する。

【役員】  
第8条  
(1) 本会は役員として会長1名、副会長若干名、幹事長を置く。  
(2) 本会は名誉会長、名誉副会長及び顧問を置くことができる。  
(3) 会長、副会長は総会の決議によって選出する。  
(4) 顧問は幹事会によって選任する。  
(5) 名誉会長、名誉副会長は幹事会によって推薦され、総会の承認を持って選任する。  
(6) 会長は幹事会を組織し、本会の活動を管轄する。  
(7) 副会長は会長の職務を補佐し、会長が職務遂行しか

ねるときにその職務を代行する。  
(8) 会長、副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。

【幹事会及び事務局】  
第9条  
(1) 本会の運営のため幹事会を置く。  
(2) 幹事会の事務局を筑波大学台湾オフィスに置く。  
(3) 幹事会は、会長、副会長、事務局長、副事務局長若干名および事務局員、筑波大学台湾オフィス構成員より構成される。  
(4) 事務局長は、会長によって選任する。  
(5) 事務局長は、副事務局長、事務局員を選任する。  
(6) 幹事会は、次の活動を行う。  
一 本会の活動執行の決定  
一 本会の会計監査  
一 事業報告書の作成  
一 総会の開催  
一 会員名簿の管理  
一 筑波大学との連絡調整  
一 会員からの意見をとりまとめ、会則、附則変更などを総会へ発議する

【会費】  
第10条 本会の会費は附則に定める。また、総会開催など実際の活動内容に合わせ、適宜徴収もしくは厚志を募るものとする。

【会計】  
第11条  
(1) 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。  
(2) 本会の会計は事務局にて管理し、幹事会はこれを監査し、総会の承認を得る。  
(3) 本会に納められた会費および寄付は税金控除の対象とはならない。

【除名】  
第12条 会員が本会の目的に逸脱する行為又は本会の名誉を傷つける行為を行ったときは、幹事会の議決を経て、その資格を失う。幹事会は総会に報告する。

【会則の発効】  
第13条 本規約は2016年2月20日に校友会設立式で可決され、2016年2月20日より発効する。

【規約改正】  
第14条  
(1) この会則は総会の議決によって変更することができる。  
(2) 本規約の解釈権は幹事会に属する。

【附則の取扱い】  
第15条  
(1) 本会則は会則に矛盾しない限りにおいて本会の運営のために附則を置くことができる。  
(2) 附則は総会の議決によって変更することができる。

附則  
1 本会の最初の会長は林華章とする。  
2 本会の最初の副会長は潘進丁と邱若山とする。

附則  
【会費】  
第1条  
(1) 本会の入会金を1000台湾ドルとし、入会時に一度支払うものとし、終身会員となる。

# 筑波大學台灣校友會章程

【名稱】  
第一條 本會名稱爲”筑波大學台灣校友會”(英文名稱爲University of Tsukuba Taiwan Alumni Association, 英文縮寫爲UTTAA)。

【宗旨】  
第二條 本會之宗旨在於服務會員, 增進會員之間的友誼, 期能對台日兩國之間的國際交流有所貢獻。

【活動】  
第三條 本會為達成第二條之目的, 將致力於會員名冊的製作、校友間的以及與筑波大學之間的交流, 舉辦聯誼會及會員提議之活動。

【會員】  
第四條 本會會員由以下成員組成:  
(1) 在筑波大學或東京文理科學、東京教育大學、圖書館情報大學之大學部或研究所畢業者  
(2) 向筑波大學提交論文獲得學位者  
(3) 在筑波大學從事學習或研究一個月以上者  
(4) 在筑波大學從事教育或研究一個月以上者  
(5) 完成秘書處所訂之入會申請程序者。

【贊助會員】  
第五條 對本會的發展做出重大貢獻及贊同本會宗旨者, 經本會會長、副會長等會議後, 可成爲本會贊助會員。

【退會】  
第六條 會員可自主隨時退會。

【總會】  
第七條  
(1) 總會由所有的會員所組成  
(2) 總會將決議以下事項:  
一 會員之除名  
一 會長、副會長的選任或解任  
一 會則之變更  
一 會計監查之承認  
(3) 總會定期一年召開一次, 必要時可加開臨時會。  
(4) 總會以幹事會的決議為基礎, 由會長召集。  
(5) 總會的議長由會長擔任。  
(6) 總會的決議權, 每位會員各一票。  
(7) 總會之決議須出席會員之半數以上同意始為有效。  
(8) 會員的決議權行使可委託代理人。  
(9) 總會的新議題將透過幹事會提案。  
(10) 總會的議事將做成會議記錄, 由議長簽名蓋章。

【幹部】  
第八條  
(1) 本會的幹部將設置會長1名、副會長若干名、並設置秘書長。  
(2) 本會可設置名譽會長、名譽副會長以及顧問。  
(3) 會長、副會長由總會之決議選出。  
(4) 顧問由幹事會推薦聘任。  
(5) 名譽會長、名譽副會長由幹事會推薦, 總會認可後任之。  
(6) 會長組織幹事會, 並管理本會之所有活動。  
(7) 副會長協助會長執行會務, 於會長無法出席時, 代行其職務。  
(8) 會長、副會長的任期二年, 可連選連任。

【幹事會及秘書處】  
第九條  
(1) 為維持本會的營運設置幹事會。  
(2) 幹事會之秘書處設置在筑波大學台灣辦事處。  
(3) 幹事會由會長、副會長、秘書長、副秘書長若干名、幹部及筑波大學台灣辦事處之成員所組成。  
(4) 秘書長由會長選任。  
(5) 副秘書長、幹部由秘書長選任。  
(6) 幹事會將執行以下之活動  
一 本會活動執行之決定  
一 本會之會計審查  
一 事業報告書之作成  
一 總會之召開  
一 會員名冊的管理  
一 與筑波大學之聯絡調整  
一 統整會員之意見, 向總會提出章程及附則變更之提案

【會費】  
第十條 本會之會費依附則所定。另外, 配合召開總會等實際活動內容之需求, 得收取費用或募捐。

【會計】  
第十一條  
(1) 本會的會計年度, 由每年的一月一日開始至十二月三十一日為止。  
(2) 本會的會計將由秘書處管理、由幹事會監督、經總會認可後向所有會員公開。  
(3) 本會繳納之會費與捐款均無法提報列舉扣除稅額之用。

【開除】  
第十二條 違背本會宗旨或損害本會聲譽之會員, 經幹事會表決通過, 提交總會議決, 取消其會員資格。

【章程的生效】  
第十三條 本章程於2016年2月20日校友會成立大會通過, 自2016年2月20日起開始生效。

【章程修改】  
第十四條  
(1) 本章程可依總會之決議而修改之。  
(2) 本章程之解釋權屬於幹事會。

【附則之運作】  
第十五條  
(1) 在不與本會則相矛盾的情況下, 可依本會的營運需求, 設置附則。  
(2) 附則在總會決議後可變更。

附註  
(1) 本會最初之會長, 由林華章先生擔任。  
(2) 本會最初之副會長, 由潘進丁及邱若山先生擔任。

附則  
【會費】  
第一條  
(1) 本會入會費為新台幣1000元, 入會時一次支付, 即可成爲終身會員。

## 編集後記

文●邱若山

2018年3月3日筑波大学台湾校友会開催にあたり、会報第2号を会員の皆様に呈上致します。去年に引き続き、年報として、2017年1年間の校友会活動、母校筑波大学関連の情報を盛り沢山掲載しています。

巻頭に林華韋会長が校友会の在り方、発展に期待する所信の挨拶を寄せてくれました。会員挙って望むところであり、同感です。昨年2017の総会は校友皆様のふるってのご参加により盛大かつ成功に行われました。その後、許水徳大先輩を名誉会長として迎えることができました。

創刊号の永田恭介学長／蔡茂豊大先輩の対談に引き続き、今回は永田学長と王貞治福岡ソフトバンクホークス取締役会長と林華韋会長の鼎談をお届けします。「全体を俯瞰して進むリーダーシップを」持つ監督の境地、「教養があり、しっかりとした人間性」を持つ選手育成、「最善の結果を目指し続ける」大学とプロ野球球団との経営理念などをめぐる味な鼎談でした。

筑波大学では去年、「国際台湾研究プロジェクト」を発足し、「2017 TGSW筑波大学サイエン

スウィーク」や「台湾人若手カフェ：サイエンスとキャリアパス」のイベントが行われました。

校友紹介の欄で校友名書道家杜忠誥先生を紹介し、四点のご揮毫の掲載許可を賜りました。また、卒業後台湾に赴任し、宜蘭の羅東勤務を経てタイヤル族の方とご結婚された住友智子氏の生活についてご寄稿いただきました。感謝千万です。

校友会では、台湾茨城県人会と合同親睦会で交流し、台北で行われた2017ユニバーシアードの応援もしました。

「留学生だより」で劉家銘、張威鈞両氏の寄稿を得ました。後輩たちの母校での現下の留学生活の一端を知ることが出来ると思います。筑波大学の新宿舍—グローバル・ビレッジの完成、入学者募集の情報も併載しました。

最後に筑波大学台湾オフィスが母校と台湾の交流に尽力している情報と、大庭良介所長の芳文を掲載させていただきました。

今号の会報も校友皆様のご愛読を蒙り、次号以降の熱烈なご寄稿を賜りたくお願い申し上げます。



## 編輯後記

迎接將於2018年3月3日舉行的筑波大學台灣校友會第三次大會，特編輯會報第二號，呈獻給各位校友學長。繼續去年創刊號的體例，作為年刊，本期登載了2017年整年間校友會的活動以及母校筑波大學相關的信息。

首先，林華韋會長指出校友會的特色及將來發展上所要達成的目標，這應是校友們的共同心聲與信念。校友會在去年的第二次年會，曾蒙校友們熱情參與而能夠成功舉行，之後並榮幸能邀請許水徳先生成為本會名譽會長。

繼創刊號刊載筑波大學永田恭介校長與蔡茂豊教授對談，本期特刊為永田校長與王貞治先生及林華韋會長的鼎談。暢談兼備教養與堅毅人格的球員訓練、俯瞰全局精進的領導者條件、持續追求最佳成果的經營，等職棒球隊與大學經營的理念與實務。

在母校筑波大學方面，去年啟開了國際台灣研究計畫，筑波國際科學週以及台灣年輕人

座談會：喝咖啡聊科學與求職就業分享會。

校友近況介紹，本期刊載了名書法家杜忠誥校友的成就與墨寶，以及畢業後到台灣任職，與泰雅族原住民結婚服務於宜蘭羅東的住友智子校友的生活記述。

校友會在去年上半年與台灣茨城縣同鄉會聚會展開交流，同時在世大運期間，組團為代表日本隊出賽的筑波大學選手加油打氣。

本期刊載了現在筑波大學求學的劉家銘、張威鈞兩位同學的留學經驗與研究情形；以及校園內新宿舍國際村的完成、學士課程招生的資訊。

筑波大學台灣辦事處推展與台灣的交流以及支援台灣年輕學子前往母校求學與深造的工作。大庭良介所長的〈三天兩夜機車遊花東〉深繞趣味，足堪品讀，亦可窺見其愛台知台的一面。

希望本刊能獲得校友們的喜愛，並期待下一期踴躍賜稿。



## 筑波大學台灣校友會會刊 VOL.2

編輯 邱若山、服部美貴、孫寅華、內田康、孫蓉萍、林佳瑤

封面設計 曹融

發行人 林華章

出版人 筑波大學台灣校友會  
台北市大安區長興街 81號2樓  
02-3366-9313

出版日期 2018年3月3日

版權所有・翻印必究 Printed in Taiwan

照片拍攝地點：



天久保池



松美上池

廣告贊助校友：

國立屏東科技大學 李柏旻 (農林工學研究科博士2004年畢)

和友檢驗科技有限公司 莊坤遠 (農林工學研究科博士2002年畢)

全台物流股份有限公司 張建中 (經營政策科學研究所碩士1988年畢)

全家便利商店股份有限公司 潘進丁 (經營政策科學研究所碩士1985年畢)

筑波大學台灣校友會之會費、捐款等，請匯入以下專戶：

帳號：玉山銀行 大墩分行 0288979138615

戶名：莊坤遠

# IMAGINE THE FUTURE.

想像しよう、未来を。  
地球の、環境の、  
社会の、未来を。  
想像できなければ、  
創造はできない。  
私たちの未来は、  
失敗できない。  
創造しよう、未来を。  
共に生き、持続できる、  
開かれた未来を。  
その扉をあける、  
挑戦者になろう。

 筑波大学  
University of Tsukuba



# National Pingtung University of — Science and Technology —

## 台湾で最も美しく、緑あふれるキャンパス



**國際化**  
Internationalization

**全人化**  
Spiritualization

**專業化**  
Professionalization

# 國立屏東科技大學



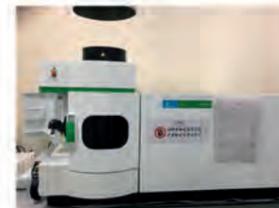
Office of  
International  
Affairs

Website — <http://oia.npust.edu.tw>  
Facebook — <https://www.facebook.com/npustويا>  
TEL — +886-8-7703202 ext 6216, 6300  
Fax — +886-8-7740208  
E-mail — [international@mail.npust.edu.tw](mailto:international@mail.npust.edu.tw)

## 和友檢驗科技有限公司 中台科技大學環安衛分析實驗室



勞動部認可 符合 ISO 17025 國際規範



感應耦合電漿發射光譜儀 - 質譜儀



原子吸收光譜儀



微波消化器



液相層析串聯式質譜儀



六位數精密天平



### 服務項目：

- ✓ 作業環境監測(勞動部職業安全衛生署認可)
- ✓ 職業安全衛生教育訓練(台中市政府認可)
- ✓ 職業安全衛生管理與相關技術諮詢服務
- ✓ 作業環境改善控制工程評估與規劃設計
- ✓ 化學品、重金屬、粉塵濃度分析與測試
- ✓ 檢知管直讀測定、閃火點測試
- ✓ 客製化超微量分析測試

和友檢驗科技有限公司成立於西元2017年，為台中市中台科技大學育成中心輔導之專業服務機構，以社會服務與培育專業人才為宗旨，結合職業安全衛生研究，提供專業之職業衛生管理諮詢與檢測分析服務，成立以來已獲國內製造業、食品業、運輸業等各領域事業單位委託提供服務。

和友將以職業安全衛生學術研究為後盾，提供客製化分析、環境測定與數據判讀，保障作業勞工健康。



「作業環境測定」とは「作業環境の実態を把握するため空気環境その他の作業環境について行うデザイン、サンプリングおよび分析（解析を含む）」をいい、労働者の健康確保のため、台湾と日本両国の法律で定期的な実施が義務付けられています。和友は台湾政府労働省の認可を得て、日系企業の皆様にも専門的なサービスを提供いたします。





# 全台物流

股份有限公司

法治為本

企業永續經營之保障

創新為先

持續競爭優勢的原動力

誠信至上

誠信是客戶滿意之基礎

服務第一

開拓新客戶之利器

林口物流中心



大溪物流中心



八德物流中心



台中物流中心



全台物流為全家便利商店之關係企業

雲林物流中心



高雄物流中心



花蓮物流中心



產業別 倉儲物流業

成立於 西元1989年

全台物流為國內頂尖之物流倉儲服務業者，一向本著『物盡其用、貨暢其流』的理念，透過科學化的管理與綿密的倉儲配送網絡，提供客戶低成本與高品質之供應鏈管理服務。

全台物流以【全方位的綜合型物流中心】自許，在作業技術上建構『常溫、恆溫、冷藏、冷凍、冰溫』五大溫層完善之物流技術。

隨著近年來外食產業興起，公司亦提供完整之商流服務，包含商品採購、庫存調撥及提供完整之配送服務。同時也獲得HACCP及ISO22000：2005食品安全管理系統雙認證。

歡迎對物流及外食產業有興趣者加入我們的行列！

自2003年起，年年名列天下雜誌之百大服務業

## ISO政策



商品安全·客戶安心

理貨溫控零異常  
配送溫控零異常

Let's Café  
| 喝一口 美好 |

FamilyMart

# 濃醇

成就 完美  
口感 黃金  
濃郁 比例



Let's Café